四国縦貫自動車道建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告
29

試掘調査総括
清水遺跡
塩塚遺跡
お塚古墳
供養地遺跡
山田遺跡（Ⅱ）
山田遺跡（Ⅰ）
馬路遺跡
和田遺跡

2005
徳島県教育委員会
財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
日本道路公団

四国縦貫自動車道建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告
29

試掘調査総括
清水遺跡
塩塚遺跡
お塚古墳
供養地遺跡
山田遺跡（Ⅱ）
山田遺跡（Ⅰ）
馬路遺跡
和田遺跡

2005
徳島県教育委員会
財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
日本道路公団

山田遺跡（Ⅰ）岩陰A全景（東から）

巻頭図版 2

山田遺跡（Ⅱ）調査地遠景（南西から）

山田遺跡（Ⅱ）ST1001 検出12回目（西から）

序　　文

本報告書は、四国縦貫自動車道（脇～川之江間）の建設に伴い、平成６年度から平成10年度にかけて調査を実施した三好郡池田町のお塚古墳はじめ本調査８遺跡の調査成果と、美馬市美馬町から三好郡池田町に所在する本調査に至らなかった９遺跡と、合わせて17遺跡の試掘調査成果をまとめたものであります。

これらの遺跡には、三好郡池田町の吉野川を見下ろす河岸断丘上に造営された中世の集積遺構を検出した供養地遺跡、集積墓を検出した山田遺跡（Ⅱ）、吉野川南岸の尾根の斜面上に位置する縄文時代の岩陰遺跡を検出した山田遺跡（Ⅰ）などがあります。それぞれの地域の歴史を解明する上での重要な基礎資料を得ることができました。

本書が調査研究の一資料として活用され、埋蔵文化財保護の一助となれば幸いです。　なお、発掘調査の実施、報告書の作成にあたり、日本道路公団及び関係諸機関並びに地元の皆様の多大な御援助、御協力をいただきましたことに深く感謝の意を表します。

平成17年９月

財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
理事長　　佐　藤　　勉

例　　言

1　本書は、平成６（1994）年度から平成10（1998）年度にかけて調査を実施した四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財試掘調査および発掘調査報告書である。

2　本書には、西屋敷遺跡・中山遺跡・西大佐古遺跡(美馬市美馬町所在)、清水遺跡・塩塚遺跡・加茂野宮遺跡(Ⅱ)・茂野宮遺跡(Ⅰ)（三好郡三野町所在)、お塚古墳・供養地遺跡・山田遺跡(Ⅱ)・山田遺跡(Ⅰ)・馬路遺跡・源氏岡遺跡・林遺跡・和田遺跡・森常遺跡・高毛遺跡（三好郡池田町所在)、以上試掘調査報告

清水遺跡・塩塚遺跡(三好郡三野町所在)、お塚古墳・供養地遺跡・山田遺跡(Ⅱ)・山田遺跡(Ⅰ)・馬路遺跡・和田遺跡(三好郡池田町所在)、以上発掘調査報告を収録した。

3　発掘調査は、日本道路公団高松建設局（現日本道路公団四国支社）から徳島県が委託を受け、徳島県からの委託契約により、財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した。

4　方位は、国土座標軸第Ⅳ座標系の北、高さは東京湾標準潮位（T．P．）を表す。

5　本書で用いた土層及び土器の色調は、小山正忠・竹原秀雄編『新版標準土色帳』1996年度版によった。

6　遺物・挿図・図版番号は各章ごとに通し番号とし、本文・挿図・表・図版と一致する。

7　各章の調査地点などの地形図は、国土交通省国土地理院発行の1／25,000の地形図を転載使用した。

8　調査にあたっては、次の機関の指導・協力を得た。

徳島県教育委員会　日本道路公団四国支社　同池田工事事務所　同脇町工事事務所　徳島県土木部縦貫道推進局　同中央事務所　美馬町　三野町　三好町　井川町　池田町

9　本調査に関する遺物、図面、写真は徳島県立埋蔵文化財総合センターで保管している。

10　本書の執筆は、以下の通りである。

Ⅰ　菅原康夫　　Ⅱ　前田隆司　Ⅲ・Ⅳ　近藤　玲　　Ⅴ～Ⅷ　田川　憲　　Ⅸ・Ⅹ　近藤　玲

各章の構成はそれぞれの執筆者が担当した。遺構の写真撮影は、各調査担当者が行った。一方、遺物の写真撮影は前田が行った。なお、全体の編集は田川による。

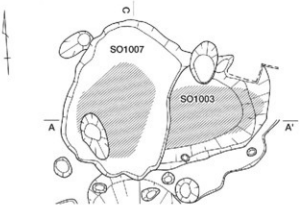
凡　　例

1　遺構の表示は、徳島県埋蔵文化財センターが定める以下の発掘調査基準による遺構略記号を用いた。

SA　掘立柱建物跡	SD　溝	SE　各種井戸	SJ　水利施設
SK　土坑	SO　窯	SP　柱穴	SR　自然流路
ST　墓	SU　集石遺構	SX　性格不明遺構	

2　遺構は種類ごとに縮尺を統一するように努めた。ただし、大型遺構などは任意に縮尺を変更している。各遺構図版に縮尺及びスケールを表示してあるので参照されたい。

3　本報告書の遺構平面図で炭化物は、以下の図のような網掛けで表現している。



4　遺物は種類ごとに縮尺を下記のように統一した。ただし、大型遺物は任意に変更している。
土器：1/4　石器：2/3・1/2・1/3・1/4　金属器：1/2・1/1

5　各章の遺物観察表の法量で（　）のものは復元値もしくは残存高を示す。

6　遺物観察表で、外）、内）、内外）は、それぞれ、外面、内面、内外面を略記している。

本 文 目 次

Ⅰ　調査に至る経緯 …… 1
　1　調査に至る経緯 …… 3

Ⅱ　試掘調査総括 …… 9
　1　西屋敷遺跡 …… 11
　2　中山遺跡 …… 13
　3　西大佐古遺跡 …… 15
　4　清水遺跡 …… 17
　5　塩塚遺跡 …… 20
　6　加茂野宮遺跡（Ⅱ） …… 22
　7　加茂野宮遺跡（Ⅰ） …… 24
　8　お塚古墳 …… 26
　9　供養地遺跡 …… 30
　10　山田遺跡（Ⅱ） …… 34
　11　山田遺跡（Ⅰ） …… 37
　12　馬路遺跡 …… 40
　13　源氏岡遺跡 …… 44
　14　林遺跡 …… 46
　15　和田遺跡 …… 48
　16　森常遺跡 …… 51
　17　高毛遺跡 …… 53

Ⅲ　清水遺跡 …… 89
　1　調査の経過 …… 91
　　(1)　調査の経過 …… 91
　　(2)　発掘調査の方法 …… 91
　　(3)　調査日誌抄 …… 92
　2　調査成果 …… 93
　　(1)　基本層序 …… 93
　　(2)　遺構と遺物 …… 93
　3　まとめ …… 100

Ⅳ　塩塚遺跡 …… 109
　1　調査の経過 …… 111
　　(1)　調査の経過 …… 111
　　(2)　発掘調査の方法 …… 111

(3) 調査日誌抄 …… 112
2 調査成果 …… 113
(1) 基本層序 …… 113
(2) 遺構と遺物 …… 113
3 まとめ …… 116

Ⅴ お塚古墳 …… 123
1 調査の経過 …… 125
(1) 調査の経過 …… 125
(2) 発掘調査の方法 …… 126
(3) 調査日誌抄 …… 127
2 調査成果 …… 128
(1) 基本層序 …… 128
(2) 遺構と遺物 …… 131
3 まとめ …… 184

Ⅵ 供養地遺跡 …… 217
1 調査の経過 …… 219
(1) 調査の経過 …… 219
(2) 発掘調査の方法 …… 220
(3) 調査日誌抄 …… 220
2 調査成果 …… 221
(1) 基本層序 …… 221
(2) 遺構と遺物 …… 226
3 まとめ …… 257

Ⅶ 山田遺跡（Ⅱ） …… 281
1 調査の経過 …… 283
(1) 調査の経過 …… 283
(2) 発掘調査の方法 …… 284
(3) 調査日誌抄 …… 284
2 調査成果 …… 285
(1) 基本層序 …… 285
(2) 遺構と遺物 …… 290
3 まとめ …… 316

Ⅷ 山田遺跡（Ⅰ） …… 331
1 調査の経過 …… 333

(1) 調査の経過 …… 333
(2) 発掘調査の方法 …… 334
(3) 調査日誌抄 …… 334
2 調査成果 …… 336
(1) 基本層序 …… 336
(2) 遺構と遺物 …… 336
3 まとめ …… 346

Ⅸ 馬路遺跡 …… 355
1 調査の経過 …… 357
(1) 調査の経過 …… 357
(2) 発掘調査の方法 …… 357
(3) 調査日誌抄 …… 357
2 調査成果 …… 359
(1) 基本層序 …… 359
(2) 遺構と遺物 …… 359
3 まとめ …… 367

Ⅹ 和田遺跡 …… 373
1 調査の経過 …… 375
(1) 調査の経過 …… 375
(2) 発掘調査の方法 …… 375
(3) 調査日誌抄 …… 375
2 調査成果 …… 377
(1) 基本層序 …… 377
(2) 遺構と遺物 …… 377
3 まとめ …… 381

挿図目次

Ⅱ 第1図 試掘調査地点と四国縦貫自動車道路線 … 10
第2図 調査地点位置図(西屋敷遺跡) … 12
第3図 調査地点位置詳細図(西屋敷遺跡) … 12
第4図 調査地点位置図(中山遺跡) … 14
第5図 調査地点位置詳細図(中山遺跡) … 14
第6図 調査地点位置図(西大佐古遺跡) … 16
第7図 調査地点位置詳細図(西大佐古遺跡) … 16
第8図 調査地点位置図(清水遺跡) … 18
第9図 調査地点位置詳細図(清水遺跡) … 18
第10図 第22トレンチ出土土器 … 19
第11図 第68トレンチ出土土器 … 19
第12図 調査地点位置図(塩塚遺跡) … 21
第13図 調査地点位置詳細図(塩塚遺跡) … 21
第14図 調査地点位置図(加茂野宮遺跡(Ⅱ)) … 23
第15図 調査地点位置詳細図(加茂野宮遺跡(Ⅱ)) … 23
第16図 調査地点位置図(加茂野宮遺跡(Ⅰ)) … 25
第17図 調査地点位置詳細図(加茂野宮遺跡(Ⅰ)) … 25
第18図 調査地点位置図(お塚古墳) … 27
第19図 調査地点位置詳細図(お塚古墳) … 27
第20図 第1トレンチ出土土器 … 28
第21図 第20トレンチ出土土器 … 28
第22図 第46トレンチ出土土器 … 28
第23図 第61トレンチ出土土器 … 28
第24図 第72トレンチ出土土器 … 28
第25図 包含層出土土器 … 28
第26図 第20トレンチ出土土器 … 28
第27図 第38トレンチ出土土器 … 28
第28図 調査地点位置図(供養地遺跡) … 31
第29図 調査地点位置詳細図(供養地遺跡) … 31
第30図 第5トレンチ出土土器 … 32
第31図 第9トレンチ出土土器 … 32
第32図 第10トレンチ出土土器 … 32
第33図 包含層出土土器 … 32
第34図 調査地点位置図(山田遺跡(Ⅱ)) … 35
第35図 調査地点位置詳細図(山田遺跡(Ⅱ)) … 35
第36図 第3トレンチ出土土器 … 36
第37図 A-3トレンチ出土土器(1) … 36
第38図 A-3トレンチ出土土器(2) … 36
第39図 第22トレンチ出土土器 … 36
第40図 第36トレンチ出土土器 … 36
第41図 第41トレンチ出土土器 … 36
第42図 第52トレンチ出土土器 … 36
第43図 包含層出土土器 … 36
第44図 第44トレンチ出土石器 … 36
第45図 調査地点位置図(山田遺跡(Ⅰ)) … 38
第46図 調査地点位置詳細図(山田遺跡(Ⅰ)) … 38
第47図 第53トレンチ出土土器 … 39
第48図 出土石器(1) … 39
第49図 出土石器(2) … 39
第50図 調査地点位置図(馬路遺跡) … 41
第51図 調査地点位置詳細図(馬路遺跡) … 41
第52図 表土出土土器 … 42
第53図 第10トレンチ出土土器 … 42
第54図 第15トレンチ出土土器 … 42
第55図 第26トレンチ出土土器 … 42
第56図 第24トレンチ出土石器 … 43
第57図 調査地点位置図(源氏岡遺跡) … 45
第58図 調査地点位置詳細図(源氏岡遺跡) … 45
第59図 第10トレンチ出土土器 … 46
第60図 調査地点位置図(林遺跡) … 47
第61図 調査地点位置詳細図(林遺跡) … 47
第62図 第10トレンチ出土土器 … 48
第63図 第12トレンチ出土土器 … 48
第64図 溝2出土土器 … 48
第65図 第10トレンチ出土石器 … 48
第66図 調査地点位置図(和田遺跡) … 49
第67図 調査地点位置詳細図(和田遺跡) … 49
第68図 調査地点位置図(森常遺跡) … 52
第69図 調査地点位置詳細図(森常遺跡) … 52
第70図 調査地点位置図(高毛遺跡) … 54
第71図 調査地点位置詳細図(高毛遺跡) … 54

Ⅲ 第1図 調査地点位置図(清水遺跡) … 91
第2図 清水遺跡遺構配置図 … 92
第3図 SK1001平・断面図 … 94
第4図 SK1001出土土器 … 94
第5図 SK1006平・断面図 … 94
第6図 SK1006出土土器 … 94
第7図 SK1012平・断面図 … 94
第8図 SK1012出土土器 … 94
第9図 SO1001平・断面図 … 96
第10図 SO1002平・断面図 … 96
第11図 SO1003・1004・1005・1006・1007平・断面図 … 97
第12図 SO1006平・断面図 … 98
第13図 SO1006出土土器 … 98
第14図 SP1052平・断面図 … 98
第15図 SP1052出土土器 … 98
第16図 SP1060平・断面図 … 98
第17図 SP1060出土土器 … 99
第18図 SP1069平・断面図 … 99
第19図 SP1069出土土器 … 99
第20図 包含層出土土器 … 99
第21図 包含層出土石器 … 100

Ⅳ 第1図 調査地点位置図(塩塚遺跡) … 111
第2図 塩塚遺跡遺構配置図 … 112
第3図 SK1001平・断面図 … 114
第4図 SK1002平・断面図 … 114
第5図 SX1001平・断面図 … 114
第6図 SX1002平・断面図 … 114
第7図 包含層出土遺物 … 115
第8図 包含層出土石器 … 116
第9図 表土出土遺物 … 116

V　第1図　調査地位置図(お塚古墳) …… 125
第2図　グリット位置図 …… 126
第3図　基本土層柱状図 …… 128
第4図　お塚古墳A・B区遺構配置図 …… 129
第5図　お塚古墳C・D区遺構配置図 …… 129
第6図　お塚古墳E・F区遺構配置図 …… 130
第7図　D区SK1012平・断面図 …… 131
第8図　D区SK1012出土土器 …… 131
第9図　B区SA1001平・断面図 …… 133
第10図　B区SG1001平・断面図 …… 133
第11図　C区SA1002平・断面図 …… 133
第12図　D区SA1003平・断面図 …… 134
第13図　D区SA1003出土土器 …… 134
第14図　D区SA1004平・断面図 …… 135
第15図　D区SP1597平・断面図 …… 135
第16図　D区SP1597出土土器 …… 135
第17図　D区SA1005平・断面図 …… 136
第18図　D区SA1005出土土器 …… 136
第19図　E区SA1006平・断面図 …… 136
第20図　E区SA1007平・断面図 …… 137
第21図　E区SA1008平・断面図 …… 137
第22図　E区SP1698平・断面図 …… 138
第23図　E区SP1698出土土器 …… 138
第24図　D区SK1011平・断面図 …… 139
第25図　D区SK1011出土土器 …… 139
第26図　D区SK1014・1015平・断面図 …… 139
第27図　D区SK1014・1015出土遺物 …… 139
第28図　D区SK1021平・断面遺物出土状況図 …… 140
第29図　D区SK1021出土土器 …… 142
第30図　D区SK1022平・断面図 …… 142
第31図　D区SK1022出土土器 …… 143
第32図　D区SK1044平・断面遺物出土状況図 …… 144
第33図　D区SK1044出土土器 …… 144
第34図　D区SU1006・1007平・断面遺物出土状況図 …… 144
第35図　D区SU1006出土土器 …… 145
第36図　E区ST1001平・断面図 …… 146
第37図　E区ST1001検出状況図 …… 147
第38図　E区ST1001平・断面遺物出土状況図 …… 148
第39図　E区ST1001埋葬施設①平・断面遺物出土状況図 …… 149
第40図　E区ST1001埋葬施設②平・断面遺物出土状況図 …… 149
第41図　E区ST1001埋葬施設③平・断面遺物出土状況図 …… 149
第42図　E区ST1001出土土器 (1) …… 150
第43図　E区ST1001出土土器 (2) …… 151
第44図　E区ST1001出土土器 (3) …… 152
第45図　E区ST1001出土遺物 (4) …… 153
第46図　F区ST1002平・断面図 …… 154
第47図　F区ST1002検出状況図 …… 155
第48図　F区ST1002見通し図 …… 156
第49図　F区ST1002 1号埋葬施設平・断面遺物出土状況図 …… 156
第50図　F区ST1002出土遺物 …… 157
第51図　D区SX1002平・断面遺物出土状況図 …… 158
第52図　D区SX1002出土遺物 …… 158
第53図　B区SP1041平・断面図 …… 159
第54図　B区SP1041出土鉄器 …… 159
第55図　D区SP1306平・断面図 …… 159
第56図　D区SP1306出土土器 …… 159
第57図　D区SP1325平・断面遺物出土状況図 …… 159
第58図　D区SP1325出土土器 …… 159
第59図　D区SP1326平・断面図 …… 159
第60図　D区SP1326出土土器 …… 159
第61図　D区SP1329平・断面遺物出土状況図 …… 159
第62図　D区SP1329出土土器 …… 159
第63図　D区SP1406平・断面図 …… 161
第64図　D区SP1406出土土器 …… 161
第65図　D区SP1408平・断面図 …… 161
第66図　D区SP1408出土土器 …… 161
第67図　D区SP1455平・断面図 …… 161
第68図　D区SP1455出土土器 …… 161
第69図　D区SP1484平・断面図 …… 163
第70図　D区SP1484出土鉄器 …… 163
第71図　D区SP1552平・断面図 …… 163
第72図　D区SP1552出土土器 …… 163
第73図　D区SP1554平・断面図 …… 163
第74図　D区SP1554出土土器 …… 163
第75図　D区SP1565平・断面図 …… 163
第76図　D区SP1565出土土器 …… 163
第77図　D区SP1567平・断面遺物出土状況図 …… 163
第78図　D区SP1567出土土器 …… 163
第79図　D区SP1572平・断面図 …… 163
第80図　D区SP1572出土土器 …… 163
第81図　D区SP1587平・断面図 …… 165
第82図　D区SP1587出土土器 …… 165
第83図　D区SP1619平・断面遺物出土状況図 …… 165
第84図　D区SP1619出土土器 …… 165
第85図　D区SP1644平・断面図 …… 165
第86図　D区SP1644出土土器 …… 165
第87図　D区SP1776平・断面図 …… 165
第88図　D区SP1776出土土器 …… 165
第89図　包含層出土土器 (1) …… 166
第90図　包含層出土土器 (2) …… 167
第91図　包含層出土遺物 (3) …… 168
第92図　C区SK1003平・断面遺物出土状況図 …… 169
第93図　C区SK1003出土土器 …… 169
第94図　C区SK1004平・断面図 …… 170
第95図　C区SK1004出土遺物 …… 171
第96図　C区SK1007平・断面遺物出土状況図 …… 172
第97図　C区SK1007出土遺物 (1) …… 173
第98図　C区SK1007出土石器 (2) …… 174
第99図　C区SK1008平・断面遺物出土状況図 …… 175
第100図　C区SK1008出土遺物 (1) …… 175
第101図　C区SK1008出土遺物 (2) …… 176
第102図　D区SK1030平・断面図 …… 177
第103図　D区SK1030出土土器 …… 177
第104図　B区ST1003平・断面遺物出土状況図 …… 178
第105図　B区ST1003出土土器 …… 178
第106図　A区SR1001断面図 …… 179
第107図　A区SR1001出土遺物 …… 180
第108図　包含層出土土器 (1) …… 181
第109図　包含層出土土器 (2) …… 182
第110図　包含層出土遺物 (3) …… 183

Ⅵ 第1図 調査地位置図(供養地遺跡) ……219
第2図 グリット位置図 ……220
第3図 基本土層柱状図 ……221
第4図 供養地遺跡遺構配置図 ……223
第5図 B区SA1001平・断面図 ……225
第6図 C区SA1002平・断面図 ……225
第7図 C区SK1005平・断面図 ……226
第8図 C区SK1005出土土器 ……226
第9図 C区SK1007平・断面図 ……227
第10図 C区SK1007出土土器 ……227
第11図 A区SO1001平・断面図 ……228
第12図 A区SO1002平・断面図 ……229
第13図 A区SO1002出土遺物 ……229
第14図 C区SJ1001平・断面遺物出土状況図 ……230
第15図 C区SJ1001出土遺物垂直分布図 ……230
第16図 C区SJ1001出土土器 ……231
第17図 A区ST1001平・断面遺物出土状況図 ……232
第18図 A区ST1001出土土器 ……232
第19図 B区ST1002平・断面遺物出土状況図 ……233
第20図 B区ST1002出土土器 (1) ……234
第21図 B区ST1002出土土器 (2) ……235
第22図 B区ST1002出土土器 (3) ……236
第23図 B区ST1002出土遺物 (4) ……237
第24図 B区ST1003平・断面遺物出土状況図 ……238
第25図 B区ST1003出土土器 (1) ……239
第26図 B区ST1003出土土器 (2) ……240
第27図 B区ST1004平・断面遺物出土状況図 ……240
第28図 B区ST1004出土土器 ……240
第29図 B区ST1005検出状況図 ……241
第30図 B区ST1005出土土器 ……241
第31図 C区ST1006平・断面遺物出土状況図 ……242
第32図 C区ST1006出土土器 (1) ……243
第33図 C区ST1006出土土器 (2) ……244
第34図 A区SU1001平・断面遺物出土状況図 ……245
第35図 A区SU1001出土遺物 ……246
第36図 B区SP1023平・断面図 ……247
第37図 B区SP1023出土土器 ……247
第38図 C区SP1047平・断面図 ……247
第39図 C区SP1047出土土器 ……247
第40図 C区SP1059平・断面図 ……247
第41図 C区SP1059出土土器 ……247
第42図 C区SP1113平・断面図 ……247
第43図 C区SP1113出土鉄器 ……247
第44図 C区SP1118平・断面図 ……247
第45図 C区SP1118出土土器 ……247
第46図 C区SP1126平・断面図 ……249
第47図 C区SP1126出土土器 ……249
第48図 C区SP1141平・断面図 ……249
第49図 C区SP1141出土土器 ……249
第50図 包含層出土土器 (1) ……250
第51図 包含層出土土器 (2) ……251
第52図 包含層出土土器 (3) ……252
第53図 包含層出土土器 (4) ……253
第54図 包含層出土土器 (5) ……254
第55図 包含層出土遺物 (6) ……255
第56図 包含層出土鉄器 (7) ……256
Ⅶ 第1図 調査地位置図(山田遺跡(Ⅱ)) ……283
第2図 グリット位置図 ……284
第3図 基本土層柱状図 ……285
第4図 山田遺跡(Ⅱ)遺構配置図 ……287
第5図 A区SA1001平・断面図 ……289
第6図 A区SA1001出土土器 ……289
第7図 A区SA1002平・断面図 ……291
第8図 A区SA1003平・断面図 ……291
第9図 A区SA1004平・断面図 ……292
第10図 A区SA1005平・断面図 ……293
第11図 A区SP1073平・断面遺物出土状況図 ……293
第12図 A区SP1073出土遺物 ……293
第13図 A区SA1006平・断面図 ……295
第14図 A区SA1006出土土器 ……295
第15図 A区SP1072平・断面図 ……295
第16図 A区SA1007平・断面図 ……296
第17図 A区SA1007出土土器 ……296
第18図 A区SP1145平・断面図 ……296
第19図 A区SP1163平・断面図 ……296
第20図 A区SD1001平・断面図 ……297
第21図 A区SD1001出土土器 ……297
第22図 A区SJ1001平・断面遺物出土状況図 ……299
第23図 A区SJ1001出土遺物 ……301
第24図 A区ST1001検出状況図 ……302
第25図 A区ST1001平・断面図 ……303
第26図 A区ST1001遺物出土状況図 ……304
第27図 A区ST1001出土遺物 ……305
第28図 A区SU1001平・断面遺物出土状況図 ……306
第29図 A区SU1001出土土器 ……306
第30図 A区SU1002・1003平・断面遺物出土状況図 ‥307
第31図 A区SU1002出土土器 ……308
第32図 A区SU1004平・断面図 ……308
第33図 A区SP1004平・断面図 ……309
第34図 A区SP1004出土土器 ……309
第35図 A区SP1006平・断面遺物出土状況図・出土土器 ‥309
第36図 A区SP1025平・断面図 ……309
第37図 A区SP1025出土土器 ……309
第38図 A区SP1038平・断面遺物出土状況図・出土土器 ‥309
第39図 A区SP1053平・断面図・出土土器 ……311
第40図 A区SP1054平・断面図・出土土器 ……311
第41図 A区SP1070平・断面図・出土土器 ……311
第42図 A区SP1154平・断面図・出土土器 ……311
第43図 A区SP1162平・断面図・出土土器 ……311
第44図 A区 SP1175平・断面図・出土石器 ……311
第45図 包含層出土土器 (1) ……313
第46図 包含層出土遺物 (2) ……314
第47図 包含層出土鉄器 (3) ……315
Ⅷ 第1図 調査地位置図(山田遺跡(Ⅰ)) ……333
第2図 地形図 ……335
第3図 岩陰Aトレンチ配置図 ……336
第4図 岩陰A平面図 ……337
第5図 岩陰A断面図 ……338

第6図　岩除A地形測量図(3層上面) ・・・・・・・・・・・・・ 339
第7図　岩除A遺物出土状況図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 339
第8図　岩除A出土遺物垂直分布図 ・・・・・・・・・・・・・ 339
第9図　岩除A断面図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 339
第10図　岩除A出土遺物 (1) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 340
第11図　岩除A出土石器 (2) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 341
第12図　岩除A出土石器 (3) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 342
第13図　岩除B・Cトレンチ配置図 ・・・・・・・・・・・・・ 343
第14図　岩除B断面図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 343
第15図　岩除C断面図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 344
第16図　岩除B・C断面図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 344

Ⅸ　第1図　調査地点位置図(馬路遺跡) ・・・・・・・・・・・・・ 357
第2図　馬路遺跡遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 358
第3図　ST1001平・断面遺物出土状況図 ・・・・・・・・ 360
第4図　ST1001被覆円礫除去後平面図 ・・・・・・・・・ 361
第5図　ST1001石棺状石組検出状況平面図 ・・・・・・ 361
第6図　ST1002平・断面遺物出土状況図 ・・・・・・・・ 362
第7図　ST1003平・断面遺物出土状況図 ・・・・・・・・ 362
第8図　ST1004平・断面遺物出土状況図 ・・・・・・・・ 363
第9図　ST1005・SK1002平・断面遺物出土状況図 ・・・ 364
第10図　ST1006平・断面遺物出土状況図 ・・・・・・・・ 365
第11図　ST1007平・断面遺物出土状況図 ・・・・・・・・ 365
第12図　ST1006出土土器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 366
第13図　ST1005及び包含層出土土器 ・・・・・・・・・・・ 366
第14図　ST1005上面出土石器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 366
第15図　包含層出土石器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 366
第16図　ST1001出土鉄器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 366
第17図　ST1005上面出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 366

Ⅹ　第1図　調査地点位置図(和田遺跡) ・・・・・・・・・・・・ 375
第2図　和田遺跡遺構配置図・SR1001断面図 ・・・・ 376
第3図　SE1001平・断面図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 379
第4図　SR1001出土土器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 378
第5図　SD1002出土土器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 378
第6図　SD1010出土土器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 378
第7図　SD1011出土土器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 378
第8図　SR1001出土石器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 379
第9図　SE1001出土石器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 380
第10図　SR1001上面出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 380
第11図　SR1001出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 380
第12図　SD1010出土遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 381

表　目　次

Ⅰ　第1表　四国縦貫自動車道(脇～美馬・美馬～川之江)
埋蔵文化財調査地一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・ 6
第2表　本書所収試掘調査一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
第3表　本書所収発掘調査一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

Ⅱ　第1表　清水遺跡試掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 55
第2表　お塚古墳試掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 55
第3表　供養地遺跡試掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 55
第4表　山田遺跡(Ⅱ)試掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 56
第5表　山田遺跡(Ⅰ)試掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 56
第6表　馬路遺跡試掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 56
第7表　林遺跡試掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・・・ 57
第8表　和田遺跡試掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 57
第9表　山田遺跡(Ⅱ)試掘調査 出土遺物観察表 石器 ・・ 57
第10表　山田遺跡(Ⅰ)試掘調査 出土遺物観察表 石器 ・・ 57
第11表　馬路遺跡試掘調査 出土遺物観察表 石器 ・・ 57
第12表　和田遺跡試掘調査 出土遺物観察表 石器 ・・ 57

Ⅲ　第1表　清水遺跡遺構一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
第2表　清水遺跡発掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 102
第3表　清水遺跡発掘調査 出土遺物観察表 石器 ・・ 102

Ⅳ　第1表　塩塚遺跡遺構一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
第2表　塩塚遺跡発掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 117
第3表　塩塚遺跡発掘調査 出土遺物観察表 瓦 ・・・・ 118
第4表　塩塚遺跡発掘調査 出土遺物観察表 石器 ・・ 118
第5表　塩塚遺跡発掘調査 出土遺物観察表 鉄製品 ・・ 118

Ⅴ　第1表　お塚古墳検出遺構一覧表 堀立柱建物跡 ・・・ 185
第2表　お塚古墳遺構一覧表 SK ・・・・・・・・・・・・・・・ 186
第3表　お塚古墳遺構一覧表 SU ・・・・・・・・・・・・・・・ 187
第4表　お塚古墳遺構一覧表 ST ・・・・・・・・・・・・・・・ 187
第5表　お塚古墳遺構一覧表 SD ・・・・・・・・・・・・・・・ 187
第6表　お塚古墳遺構一覧表 SR ・・・・・・・・・・・・・・・ 187
第7表　お塚古墳遺構一覧表 SX ・・・・・・・・・・・・・・・ 187
第8表　お塚古墳遺構一覧表 SP ・・・・・・・・・・・・・・・ 188
第9表　お塚古墳発掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・・ 195
第10表　お塚古墳発掘調査 出土遺物観察表 木製品 ・・ 202
第11表　お塚古墳発掘調査 出土遺物観察表 石器 ・・・ 202
第12表　お塚古墳発掘調査 出土遺物観察表 鉄製品 ・・ 202

Ⅵ　第1表　供養地遺跡 検出遺構一覧表 堀立柱建物跡 ・・ 258
第2表　供養地遺跡 遺構一覧表 SK ・・・・・・・・・・・・・ 258
第3表　供養地遺跡 遺構一覧表 SO ・・・・・・・・・・・・・ 258
第4表　供養地遺跡 遺構一覧表 SJ ・・・・・・・・・・・・・ 258
第5表　供養地遺跡 遺構一覧表 ST ・・・・・・・・・・・・・ 258
第6表　供養地遺跡 遺構一覧表 SU ・・・・・・・・・・・・・ 258
第7表　供養地遺跡 遺構一覧表 SP ・・・・・・・・・・・・・ 259
第8表　供養地遺跡発掘調査 出土遺物観察表 土器 ・・ 261
第9表　供養地遺跡発掘調査 出土遺物観察表 石器 ・・ 268
第10表　供養地遺跡発掘調査 出土遺物観察表 鉄製品 ・・ 268

Ⅶ　第1表　山田遺跡(Ⅱ)検出遺構一覧表 堀立柱建物跡 ・・ 317
第2表　山田遺跡(Ⅱ)遺構一覧表 SD ・・・・・・・・・・・・ 317
第3表　山田遺跡(Ⅱ)遺構一覧表 SJ ・・・・・・・・・・・・ 317

第４表　山田遺跡（Ⅱ）遺構一覧表 ST ……317
第５表　山田遺跡（Ⅱ）遺構一覧表 SU ……317
第６表　山田遺跡（Ⅱ）遺構一覧表 SP ……318
第７表　山田遺跡（Ⅱ）発掘調査 出土遺物観察表 土器 …320
第８表　山田遺跡（Ⅱ）発掘調査 出土遺物観察表 木製品 ‥323
第９表　山田遺跡（Ⅱ）発掘調査 出土遺物観察表 石器 …323
第10表　山田遺跡（Ⅱ）発掘調査 出土遺物観察表 鉄製品 ‥323

Ⅶ　第１表　山田遺跡（Ⅰ）発掘調査 出土遺物観察表 土器 …348
第２表　山田遺跡（Ⅰ）発掘調査 出土遺物観察表 石器 …348

Ⅸ　第１表　馬路遺跡遺構一覧表 ……368
第２表　馬路遺跡発掘調査 出土遺物観察表 土器 …368
第３表　馬路遺跡発掘調査 出土遺物観察表 石器 …368
第４表　馬路遺跡発掘調査 出土遺物観察表 鉄製品 …368

Ⅹ　第１表　和田遺跡遺構一覧表 ……382
第２表　和田遺跡発掘調査 出土遺物観察表 土器 …383
第３表　和田遺跡発掘調査 出土遺物観察表 石器 …383
第４表　和田遺跡発掘調査 出土遺物観察表 鉄製品 …383

写真図版目次

巻頭図版１ 山田遺跡（Ⅰ）岩陰全景（東から）
巻頭図版２ (1) 山田遺跡（Ⅱ）調査地遠景（南西から）
(2) 山田遺跡（Ⅱ）ST1001検出12回目（西から）

Ⅱ 西照敬遺跡
図版１ (1) 全体風景（南から） …… 58
(2) 第29トレンチ土層堆積状況 …… 58
(3) 第22トレンチ完掘状況 …… 58
中山遺跡
図版２ (1) 第10トレンチ土層堆積状況 …… 59
(2) 第21トレンチ土層堆積状況 …… 59
(3) 第２トレンチ完掘状況 …… 59
西大佐古遺跡１次
図版３ (1) 調査前風景（北から） …… 60
(2) 第９トレンチ遺物検出状況 …… 60
(3) 第５トレンチ完掘状況 …… 60
西大佐古遺跡２次
図版４ (1) 調査前風景 …… 61
(2) 第12トレンチ土層堆積状況 …… 61
(3) 第15トレンチ上層堆積状況 …… 61
清水遺跡
図版５ (1) 調査前風景 …… 62
(2) 第68トレンチ土器出土状況 …… 62
(3) 第７トレンチ完掘状況 …… 62
塩塚遺跡１次
図版６ (1) 調査前風景 …… 63
(2) 第７トレンチ土層堆積状況 …… 63
(3) 第17トレンチ完掘状況 …… 63
塩塚遺跡２次
図版７ (1) 調査前風景 …… 64
(2) 第12トレンチ石組 …… 64
(3) 第９トレンチ完掘状況 …… 64
加茂野宮遺跡（Ⅱ）
図版８ (1) 調査前風景（北から） …… 65
(2) 第10トレンチ土層堆積状況 …… 65
(3) 第14トレンチ完掘状況 …… 65
加茂野宮遺跡（Ⅰ）
図版９ (1) 調査前風景 …… 66
(2) 第36トレンチ土層堆積状況 …… 66
(3) 第19トレンチ完掘状況 …… 66
お塚古墳
図版10 (1) 調査前風景 …… 67
(2) 第12トレンチ遺構検出状況 …… 67
(3) 第18トレンチ土層堆積状況 …… 67
図版11 (1) 第36トレンチ遺構検出状況 …… 68
(2) 第40トレンチ遺構検出状況 …… 68
(3) 第49トレンチ石組遺構 …… 68
供養地遺跡
図版12 (1) 第５トレンチ遺構検出状況 …… 69
(2) 第７トレンチ土層堆積状況 …… 69
(3) 第９トレンチ遺構検出状況 …… 69
図版13 (1) 第10トレンチ遺構検出状況 …… 70
(2) 第16トレンチ土層堆積状況 …… 70
(3) 第2トレンチ完掘状況 …… 70
山田遺跡（Ⅱ）
図版14 (1) 調査前風景（南から） …… 71
(2) 第22トレンチ遺物検出状況 …… 71
(3) 第40トレンチ完掘状況 …… 71
図版15 (1) 第44トレンチ土層堆積状況 …… 72
(2) 第47トレンチ完掘状況 …… 72
(3) 第Y-3トレンチ遺構検出状況（東から） …… 72
山田遺跡（Ⅰ）
図版16 (1) 岩陰A全体風景（東から） …… 73
(2) 作業風景 …… 73
(3) 第10トレンチ完掘状況 …… 73
図版17 (1) 岩陰Aトレンチ土層堆積状況 …… 74
(2) 岩陰Aトレンチ完掘状況 …… 74
(3) 岩陰Bトレンチ完掘状況 …… 74
馬路遺跡
図版18 (1) 調査前風景（北から） …… 75
(2) 第15トレンチ遺物出土状況 …… 75
(3) 第24トレンチ付近石積みST（東から） …… 75
源氏岡遺跡
図版19 (1) 調査前風景 …… 76
(2) 第３トレンチ土層堆積状況 …… 76
(3) 第４トレンチ完掘状況（西から） …… 76

林遺跡
図版20 (1) 調査前風景 …… 77
(2) 第10トレンチ土層堆積状況 …… 77
(3) 第10トレンチ拡張遺構完掘状況(北東から) … 77
和田遺跡
図版21 (1) 調査前風景 …… 78
(2) 第1トレンチ遺構検出状況 …… 78
(3) 第11トレンチ土層堆積状況 …… 78
森常遺跡
図版22 (1) 調査前風景 …… 79
(2) 第11トレンチ土層堆積状況 …… 79
(3) 第11トレンチ完掘状況(北西から)…… 79
高毛遺跡
図版23 (1) 第2トレンチ土壌堆積状況 …… 80
(2) 第3トレンチ土層堆積状況 …… 80
(3) 第3トレンチ完掘状況 …… 80
図版24 出土遺物 (1) …… 81
図版25 出土遺物 (2) …… 82
図版26 出土遺物 (3) …… 83
図版27 出土遺物 (4) …… 84
図版28 出土遺物 (5) …… 85
図版29 出土遺物 (6) …… 86
図版30 出土遺物 (7) …… 87

Ⅲ 図版1 (1) 調査前風景 …… 103
(2) 2区全景(西から) …… 103
(3) 3区全景(西から) …… 103
図版2 (1) SK1001完掘状況 …… 104
(2) SK1006完掘状況 …… 104
(3) SO1003～1007完掘状況(全景) …… 104
図版3 (1) SK1001遺構検出状況(南から) …… 105
(2) SK1006遺物出土状況 …… 105
(3) SK1001遺物出土状況 …… 105
(4) SO1003～1006遺構検出状況 …… 105
(5) SP1060遺物出土状況 …… 105
(6) SO1003～1007半掘全景 …… 105
(7) SP1069遺物出土状況(西から) …… 105
(8) SP1069遺物出土状況 …… 105
図版4 出土遺物 (1) …… 106
図版5 出土遺物 (2) …… 107

Ⅳ 図版1 (1) 調査前風景 …… 119
(2) 西平坦部遺構検出状況 …… 119
(3) 西平坦部完掘状況 …… 119
図版2 (1) 塚上トレンチ(東西)交点付近 …… 120
(2) 塚上トレンチ(東西)土層断面 …… 120
(3) 西平坦部中央ベルト東西ベルト断面 …… 120
図版3 出土遺物 (1) …… 121
図版4 出土遺物 (2) …… 122

Ⅴ 図版1 (1) 調査前風景(北から) …… 203
(2) B区SA1001完掘状況(北西から) …… 203
(3) B区SA1002完掘状況(北東から) …… 203
図版2 (1) C区SA1002完掘状況(南西から) …… 204
(2) D区SA1003完掘状況 …… 204

図版3 (1) C区SD1002(左)・
SK1001(右) 完掘状況 …… 205
(2) D区SK1021完掘状況 …… 205
(3) D区SX1002完掘状況 …… 205
図版4 (1) C区SK1004・1005ベルト除去 …… 206
(2) C区SK1007(擂鉢)出土状況 …… 206
(3) C区SK1003遺物出土状況 …… 206
(4) C区SK1004(鉄)出土状況 …… 206
(5) C区SK1008ベルト除去 …… 206
(6) D区SK1021(甕)出土状況 …… 206
(7) D区SK1021集積検出状況 …… 206
(8) D区SK1021遺物出土状況 …… 206
図版5 (1) E区ST1001完掘状況 …… 207
(2) E区ST1002完掘状況 …… 207
図版6 (1) E区ST1001検出状況(北から) …… 208
(2) E区ST1001検出状況 …… 208
図版7 (1) F区ST1002検出状況 …… 209
(2) F区ST1002検出状況(南から) …… 209
図版8 (1) D区SK1030完掘状況 …… 210
(2) A区SR1001(木)出土状況 …… 210
(3) F区ST1002(骨)出土状況 …… 210
(4) A区SR1001土層断面 …… 210
(5) D区SX1002遺物出土状況 …… 210
(6) D区SU1006遺物出土状況 …… 210
(7) D区SP1325遺物出土状況 …… 210
(8) D区SP1329遺物出土状況 …… 210
図版9 (1) B区南半分完掘(東から) …… 211
(2) C区完掘(西から) …… 211
(3) D区完掘(南から) …… 211
図版10 出土遺物 (1) …… 212
図版11 出土遺物 (2) …… 213
図版12 出土遺物 (3) …… 214
図版13 出土遺物 (4) …… 215
図版14 出土遺物 (5) …… 216

Ⅵ 図版1 (1) 調査区全景(東から) …… 269
(2) 調査区全景(南から) …… 269
図版2 (1) B区完掘状況(西から) …… 270
(2) B区SA1001完掘状況 …… 270
図版3 (1) C区SJ1001検出状況(北から) …… 271
(2) A区ST1001検出状況 …… 271
(3) B区ST1002検出状況(西から) …… 271
(4) A区ST1001遺物出土状況 …… 271
(5) B区ST1002遺物出土状況 …… 271
(6) B区ST1002底部土器出土状況 …… 271
(7) B区ST1003ツラ出し …… 271
(8) B区ST1003(羽釜)出土状況 …… 271
図版4 (1) B区ST1003遺物出土状況 …… 272
(2) B区ST1003遺物出土状況 …… 272
(3) B区ST1003遺物出土状況 …… 272
(4) B区ST1005遺物出土状況 …… 272
(5) B区ST1005遺物出土状況 …… 272
(6) C区ST1006焼成部検出状況 …… 272
(7) C区ST1006遺物出土状況 …… 272
(8) C区ST1006遺物出土状況 …… 272

図版5 (1) B区ST1002付近完掘状況（西から）・・・273
(2) B区ST1005基底部検出状況 ・・・・・・・・273
(3) C区ST1006完掘状況（東から）・・・・・・273
図版6 (1) A区SU1001検出状況 ・・・・・・・・・・・・274
(2) A区SU1001ツヲ出し ・・・・・・・・・・・・274
(3) A区SU1001完掘状況 ・・・・・・・・・・・・274
図版7 出土遺物（1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・275
図版8 出土遺物（2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・276
図版9 出土遺物（3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・277
図版10 出土遺物（4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・278
図版11 出土遺物（5）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・279
図版12 出土遺物（6）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・280

Ⅶ 図版1 (1) 調査地全景（南から）・・・・・・・・・・・・・・324
(2) SA1007完掘状況 ・・・・・・・・・・・・・・・324
(3) 完掘状況（南東から）・・・・・・・・・・・・・324
図版2 (1) ST1001遺構検出状況（南東から）・・・・325
(2) ST1001完掘状況（西から）・・・・・・・・・325
図版3 (1) SD1001遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・326
(2) ST1001遺物検出状況 ・・・・・・・・・・・・326
(3) ST1001（骨）出土状況 ・・・・・・・・・・・・326
(4) SJ1001遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・326
(5) SJ1001遺構検出状況 ・・・・・・・・・・・・326
(6) SU1001遺構検出状況 ・・・・・・・・・・・・326
(7) SU1001遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・326
(8) SU1001遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・326
図版4 (1) SP1038遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・327
(2) SP1053遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・327
(3) SP1055遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・327
(4) SP1072遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・327
(5) SP1072遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・327
(6) SP1073遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・327
(7) SP1172遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・327
(8) SP1172遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・327
図版5 出土遺物（1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・328
図版6 出土遺物（2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・329
図版7 出土遺物（3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・330

Ⅷ 図版1 (1) 調査前風景（南東から）・・・・・・・・・・・・349
(2) 調査区遠景 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・349
(3) 岩除A焼土痕検出 ・・・・・・・・・・・・・・・349
図版2 (1) 岩除A（縄文土器）出土状況 ・・・・・・・350
(2) 岩除A（サヌカイト）出土状況・・・・・・350
(3) 岩除A遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・・350
(4) 岩除A（縄文土器） 出土状況・・・・・・・350
(5) 岩除A遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・・350
(6) 岩除A遺物出土状況・・・・・・・・・・・・・350
(7) 岩除A（サヌカイト）出土状況・・・・・350
(8) 岩除A遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・・350
図版3 (1) 岩除A（叩き石）出土状況・・・・・・・・・351
(2) 岩除A（石）出土状況 ・・・・・・・・・・・・351
(3) 岩除A（台石）出土状況・・・・・・・・・・・351
(4) 岩除A土層断面 ・・・・・・・・・・・・・・・・351
(5) 岩除A完掘状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・351
図版4 出土遺物（1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・352
図版5 出土遺物（2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・353

Ⅸ 図版1 (1) 調査区全景（北東から）・・・・・・・・・・・369
(2) 調査区全景完掘状況（南西から）・・・・369
(3) ST1006石を除去（南から）・・・・・・・・・369
図版2 (1) ST1001検出状況（北東から）・・・・・・370
(2) ST1001石銘（南から）・・・・・・・・・・・・370
(3) ST1001区画石検出（北から）・・・・・・・370
(4) ST1005検出状況 ・・・・・・・・・・・・・・・370
(5) ST1005遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・370
(6) ST1005（鏡）出土状況・・・・・・・・・・・370
(7) ST1006検出状況・・・・・・・・・・・・・・・370
(8) ST1006遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・370
図版3 出土遺物（1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・371

Ⅹ 図版1 (1) 調査区全景 ・・・・・・・・・・・・・・・・・384
(2) SR1001完掘状況（北西から）・・・・・・・384
(3) SR1001完掘状況（南東から）・・・・・・・384
図版2 (1) SD1010（鏡）出土状況 ・・・・・・・・・・385
(2) SD1011完掘状況・・・・・・・・・・・・・・・・385
(3) SE1001遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・385
(4) SR1001遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・385
(5) SR1001（サヌカイト）出土状況 ・・・・385
(6) SR1001（キセル）出土状況・・・・・・・・385
(7) SR1001（鏡）出土状況 ・・・・・・・・・・・385
(8) SR1001遺物出土状況 ・・・・・・・・・・・・385
図版3 出土遺物（1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・386
図版4 出土遺物（2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・387

I　調査に至る経緯

1　調査に至る経緯

四国縦貫自動車道第10次区間（脇～美馬間）の路線延長は11.7kmで、昭和63年５月18日施行命令が出され、昭和63年６月17日に路線発表された。当該区間については県教育委員会文化課（現文化財課、以下県教育委員会と呼ぶ）が昭和62・63年度に分布調査を実施し、15遺跡106,000m²を調査対象として、平成４年４月23日付で日本道路公団高松建設局（現四国支社、以下ＪＨと呼ぶ）と埋蔵文化財の取り扱いに関する協議（文化庁協議）を終えた。平成４年度は第7次区間（徳島～脇間）の調査最終年度と重なったが、用地交渉が開始され、当年度末より一部地点において試掘調査に着手し、平成６年度より本調査を開始した。

第11次区間（美馬～川之江）の路線延長は42.3kmで平成２年11月19日施行命令が出され、平成３年１月21日に路線発表された。当該区間は県教育委員会が平成４年度に分布調査を実施、39遺跡323,195m²を調査対象として、平成５年９月24日付けで文化庁協議を終えた。平成６年度試掘調査に着手し、平成７年度より本調査を開始した。

この区間は平成９年度の第10次区間、平成10年度に第11次区間のうち美馬～井川池田の供用目標が設定された。県教育委員会は平成６年度に第7次区間の調査実績（調査班数16.5班、調査対象68遺跡360,000m²に対して実調査面積133,464m²、実掘率37%）を勘案して、当該区間に必要な調査班数を12班（１班構成、調査員２・調査補助員２）と算出した。平成４・５年度は用地取得状況にも顕著な進捗はなく、そのため第10次区間の一部において本調査が実施されたにすぎない。平成６年度は全区間で用地取得が進み、第10次区間の５ヶ所で本調査を実施したのを始め、両区間の21ヶ所で試掘調査を展開した。

県教育委員会はセンターから提出された平成６年度の試掘調査結果や用地取得状況を基に、平成７年度を第10次区間３班、第11次区間６班の計９班体制で調査することを決定した。しかしこれは、平成10年度中の供用時期を前提とした調査人員配置要望（第10次区間必要班数11班・第11次区間必要班数16班、平成７年度要望班数15班）とは大きな懸隔を生じた。

さらに人員確定後に試掘調査が行われた美馬市薬師遺跡・坊僧遺跡では調査対象区域外に遺跡が広がる見込みとなり、約22,000m²の追加調査の必要性が生じた。併せて第11次区間の用地取得が進捗した。そのため第10次区間の調査を優先させると、第11次区間は試掘調査を実施するにとどまり、本調査に着手できない状況が懸念された。このためＪＨから県教育委員会に対して度重なる増班要請がなされた。

平成７年度は県立埋蔵文化財センター開設に伴い、調査関係は一課二係体制が二課四係体制に改正され、調査第二課第一係がＪＨ事業を担当することになった。県教育委員会は年度早々に必要班数を見直して26.5班と修正し、センターに調査第二課内の事業の調整にとどまらず、第一課事業も割愛し、調査班数の捻出に向けての調整を要請した。結果、平成７年度を当面12班で対応することとした。

平成７年度は第10次区間の調査を概成させ、第11次区間は試掘調査を先行させる方針により、調査班の配置を変更したため、全体の実掘面積は当初計画よりも減少したものの、調査計画は大幅に変動した。また第11次区間で本調査を実施した三野町丸山遺跡では約8,500m²が追加調査が必要となったのを始め、一部の調査において大幅な遅延を生じたため、さらに事業調整を行って休日まで調査員を投入する事態となったが、さほどの効果を上げるまでには至らなかった。

加えて試掘調査の結果、美馬市荒川遺跡、吉水遺跡、三好町土井遺跡、大柿遺跡などでは、当初見込みを上回る調査面積が確実になったため、県教育委員会は工事工程上、調整可能な調査箇所を平成８年

度に先送りすることを決めた。こうしたことから、必然的に平成８年度が事業ピークを迎える見込みになった。ＪＨと次年度体制について協議を進めていた県教育委員会は、年末までに平成８年度を35班体制で臨むことを決定し、不足人員を若干の専門職員採用と30数名の教員派遣で対応することを決定した。

この大量の教員派遣計画に対して、平成８年２月10日付文化財保存全国協議会から徳島県知事・徳島県教育長宛「四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査及び文化財保護行政の適正化を求める要望書」、同年３月６日付考古学研究会から「四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査の調査体制にかんする質問書」、同年３月28日付日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会から「四国縦貫自動車道建設に伴う文化財保護行政ならびに埋蔵文化財発掘調査に関する要望書」が提出された。

これに対し県教育委員会は県教育長名で考古学研究会に同年３月22日付、日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会には同年４月15日付で回答している。

平成８年度は調査体制が一新された。県教育委員会に埋蔵文化財担当参事（センター常務理事兼事務局長）を設置し、文化財課の埋蔵文化財担当係の強化を図ると共に、前年度に続いてセンターの組織改正が行われた。調査関係では平成７年度の事務分掌が全面的に改正され、三好町に埋蔵文化財センター西部事務所が設置された。調査第二課調査第一係は西部事務所勤務となり、平成８年度は新設の所長（センター専務理事兼所長）以下143名、平成９年度は95名体制、平成８年度最大稼働時35班（通年28.5班）、平成９年度最大稼働時24班（通年20.5班）、計49班で事業に対応することとなった。

表１に年次ごとの進捗状況を示した。平成８年度は、第11次区間美馬～井川池田間の調査に目途を立てることを最大の主眼とした。平成８年度前半に第10次区間及び前年度からの継続調査の完了、用地の取得がまとまった第11次区間の中規模遺跡の概成、後半での大規模遺跡への効果的稼働を目指した。

なお、本書所収遺跡の発掘調査及び報告書作成業務体制は、以下の通りである。

発掘調査業務体制

所　　長　筒井豊祐（平成７～９年度）　寒川光明（平成10年度）
事務局長　柴田　広（平成６・７年度）　庄野徳保（平成８・９年度）　細川靖夫（平成10年度）
事務局次長　谷　一郎（平成８・９年度　西部事務所所長兼務）
総務課長　小林敬治（平成６・７年度）　長江　仁（平成８・９年度）　井後伸一（平成10年度）
主　　事　三木和文（平成６・７年度）　西木志香（平成７～９年度）
　　集堂正士（平成８～10年度）　佐藤真紀（平成10年度）
技術主任　酒井彰彦（平成６年度）　大西孝司（平成10年度）
技　　師　青木雅和（平成７～９年度）　笠井達雄（平成８年度）
調査課長　紀伊司郎（平成６年度・７年度第１課課長）　菅原康夫（平成８年度・９年度第２課課長・10年度課長　８・９年度西部事務所次長兼務）
課長兼係長　鳥巡賢二（平成６年度主査兼係長・７年度第２課課長兼係長・８年度第１課課長・９年度普及係長兼務・10年度整理普及課長）
主査兼係長　逢坂俊男（平成７年度第２課・８年度第１課）　南　信義（平成７年度第１課・８年度第２課・９年度第１課　縦貫担当係長兼務）　佐々木清克（平成８年度第２課・９年度第２課）　武市文雄（平成10年度）

調査係長　菅原康夫（平成６年度・７年度第１課務・10年度整理係長）　松永雅行（平成９年度第２課　縦貫担当係長兼市村みね（平成10年度）

調査担当

清水遺跡

研究員　原　芳伸　　中南弘史　　丸岡慎人　　研究補助員　河野道教

塩塚遺跡

研究員　佐野耕市　　宮本和明

お塚古墳

第１次調査　　第２次調査

研究員　小泉信司　　石本　卓　　研究員　白井正道　　石本　卓

供養地遺跡

主査兼調査第二係長　逢坂俊男　　研究員　石本　卓

山田遺跡（Ⅱ）

研究員　小泉信司　　研究補助員　佐藤誠二

山田遺跡（Ⅰ）

研究員　原　芳伸　　藤本好浩

馬路遺跡

研究員　佐野耕市　　相原　聡

和田遺跡

研究員　近藤　理　　寒川芳裕

報告書作成業務体制

平成15年度

所　長　本淨敏之
事務局長　西村和博
総務課　課長　山本高史
主査兼係長　坂尾俊一
事務主任　布川純子
整理普及課　整理普及課長　島巡賢二
整理係長　貞野雅己
普及係長　関本秋夫
研究員　豊田周作　近藤　玲

平成16年度

所　長　浦上純二
事務局長　河野幸一
総務課　課長　古田哲郎
主査兼係長　坂尾俊一
事務主事　川口治代
事業第二課　第二課長　島巡賢二
整理係長　貞野雅己
普及係長　関本秋夫
研究員　前田隆司　田川　憲

第1表　四国縦貫自動車道(脇～美馬・美馬～川之江)埋蔵文化財調査地一覧表

番号	遺跡名	所在地	調査面積(㎡) 総面積	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	報告書所収
1	原（Ⅰ）	美馬市脇町北庄	380		380						第41集
2	原（Ⅱ）	美馬市脇町北庄	1,560		1,560						第41集
3	鶴蔵	美馬市脇町北庄	1,544		240	1,304					第41集
4	佐城（Ⅰ）	美馬市脇町脇町	565	165	400						第41集
5	佐城（Ⅱ）	美馬市脇町脇町	779	89	70	620					第41集
6	佐城（Ⅲ）	美馬市脇町脇町	146	146							第41集
7	田上（Ⅰ）	美馬市脇町田上	891			873	18				第27集
8	田上（Ⅱ）	美馬市脇町西田上	9,258			4,610	4,478	170			第27集
9	田上（Ⅲ）	美馬市脇町西田上	6,062		150	1,822	4,090				第27集
10	井口	美馬市脇町井口	150		150						第41集
11	薬師（薬師）	美馬市美馬町芝板	9,335			330	9,005				第34集
12	薬師（芝坂）	美馬市美馬町芝板	6,937			41	4,613	2,283			第34集
13	坊僧（坊僧）	美馬市美馬町坊僧	12,455		750	56	11,649				第34集
14	坊僧（中黒）	美馬市美馬町坊僧	229			154	75				第34集
15	坊僧（東段）	美馬市美馬町坊僧	5,850			116	5,734				第34集
16	坊僧（西段）	美馬市美馬町坊僧	63			63					第34集
17	池ノ浦	美馬市美馬町池ノ浦	26			26					第41集
18	滝ノ宮	美馬市美馬町滝ノ宮	2,563	350	500		1,713				第41集
19	下突出	美馬市美馬町中横尾	2,600				2,600				第41集
	脇～美馬		61,393	750	4,200	10,015	43,975	2,453			
20	荒川	美馬市美馬町荒川	17,782				202	15,530	2,050		第61集
21	吉水	美馬市美馬町吉水	3,820				120	3,700			第39集
22	西屋敷	美馬市美馬町中西	288				288				本書
23	中山	美馬市美馬町中山	172				172				本書
24	西大佐古	美馬市美馬町突落	153				108	45			本書
25	清水	三好郡三野町清水	10,692			692		10,000			本書
26	塩塚	三好郡三野町清水	2,332			310	72	1,950			本書
27	加茂野宮（Ⅱ）	三好郡三野町加茂野宮	300			300					本書
28	加茂野宮（Ⅰ）	三好郡三野町加茂野宮	340			340					本書
29	大谷尻	三好郡三野町北原	4,595			95	4,500				第53集
30	丸山	三好郡三野町勢力	14,760				11,110	3,650			第45集
31	花園	三好郡三野町太刀野	3,456				356	3,100			第42集
32	太刀野山（Ⅱ）	三好郡三野町アミダ堂	157			103	54				第42集
33	太刀野山（Ⅰ）	三好郡三野町アミダ堂	450			450					第42集
34	台	三好郡三好町足代	1,203					1,203			第42集
35	宮ノ岡（Ⅱ）	三好郡三好町足代	345					345			第42集
36	宮ノ岡（Ⅰ）	三好郡三好町足代	898					898			第42集
37	東原	三好郡三好町足代	16,365			217	323	15,825			第51集
38	西原	三好郡三好町足代	10,853			157	616	8,153	1,927		第50集
39	円通寺	三好郡三好町足代	42,453				808	30,375	11,270		第28集
40	土井	三好郡三好町昼間	33,630			140	378	19,520	13,592		第38集
41	大柿	三好郡三好町昼間	53,012				1,562	22,960	28,490		第37・48・60集
42	八幡	三好郡井川町八幡	1,250				20	1,230			第29集
43	井内	三好郡井川町西井川	277					277			第29集
44	井出上	三好郡井川町西井川	6,336				30	6,306			第52集
45	相知	三好郡井川町西井川	15,500				120	15,380			第59集
46	坊	三好郡井川町西井川	420					120	300		第29集
47	須賀	三好郡井川町西井川	3,869					689	3,180		第29集
48	宋	三好郡井川町西井川	240					240			第29集
49	お塚古墳	三好郡池田町トウゲ	5,314			354	1,238	3,722			本書
50	供養地	三好郡池田町クヤウジ	1,811			111	1,700				本書
51	山田（Ⅱ）	三好郡池田町ヤマダ	1,515			285	1,230				本書
52	山田（Ⅰ）	三好郡池田町ヤマダ	703			53		650			本書
53	馬路	三好郡池田町馬路	970						320	650	本書
54	源氏岡	三好郡池田町源氏岡	175							175	本書
55	林	三好郡池田町佐野	130						130		本書
56	和田	三好郡池田町佐野	1,220					1,220			本書
57	森堂	三好郡池田町初草	90						90		本書
58	高毛	三好郡池田町高毛	25						25		本書
	美馬～川之江		259,901			3,607	25,007	167,088	63,374	825	
	計		321,294	750	4,200	13,622	68,982	169,541	63,374	825	

第2表　本書所収試掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	調査対象面積 試掘面積	調査期間	調査担当者
1	西屋敷遺跡	美馬市美馬町字里西屋敷	24,820㎡ 288㎡	1995. 8. 21～9. 5	石井伸夫　中南弘史
2	中山遺跡	美馬市美馬町字中山	11,568㎡ 172㎡	1995. 4. 18～5. 12	栗林誠治　瀧山智子 藤本好浩
3	西大佐古遺跡	美馬市美馬町字突第5他	4,724㎡ 153㎡	1995. 4. 25～5. 2 6. 4	佐野耕市　宮本和明
4	清水遺跡	三好郡三野町大字清水字東籐1408他	23,060㎡ 692㎡	1994. 10. 11～11. 11	原芳伸　中南弘史 丸岡偵人　河野遥教
5	塩塚遺跡	三好郡三野町清水字塩塚1334他	13,730㎡ 382㎡	1995. 1. 24～2. 3 10. 12～10. 16	佐野耕市　宮本和明 石井伸夫　中南弘史
6	加茂野宮遺跡(Ⅱ)	三好郡三野町加茂野宮字嵐王子	9,955㎡ 300㎡	1995. 1. 20～1. 23	九十九肇　原田時冶
7	加茂野宮遺跡(Ⅰ)	三好郡三野町加茂野宮字北西干子	11,244㎡ 340㎡	1995. 1. 17～1. 19	九十九肇　原田時冶
8	お塚古墳	三好郡池田町字トウゲ106-1他	11,806㎡ 334㎡	1995. 1. 19～2. 10	小泉信司　谷恒二 佐藤誠二
9	供養地遺跡	三好郡池田町字クヤウジ4151他	3,728㎡ 111㎡	1994. 12. 5～ 1995. 1. 18	小泉信司　谷恒二 佐藤誠二
10	山田遺跡(Ⅱ)	三好郡池田町字ヤマダ	6,470㎡ 285㎡	1994. 6. 6～8. 24 11. 15～11. 17	小泉信司　谷恒二 佐藤誠二
11	山田遺跡(Ⅰ)	三好郡池田町字ヤマダ	2,550㎡ 53㎡	1994. 9. 5～9. 12 11. 22～11. 30	小泉信司　谷恒二 佐藤誠二
12	馬路遺跡	三好郡池田町馬路字安永78他	7,740㎡ 320㎡	1998. 2. 2～3. 31	佐野耕市　瀬部雄一
13	源氏岡遺跡	三好郡池田町馬路字源氏岡30他	1,180㎡ 175㎡	1998. 4. 2～5. 31	谷恒二　笠井敬介
14	林遺跡	三好郡池田町佐野	2,210㎡ 130㎡	1997. 8. 1～8. 29	谷恒二　佐野耕市
15	和田遺跡	三好郡池田町佐野字和田308番地他	2,810㎡ 120㎡	1996. 6. 3～6. 8	近藤理　寒川芳裕
16	森常遺跡	三好郡池田町字初芝2656-1他	1,510㎡ 90㎡	1997. 7. 1～7. 23	谷恒二　大橋育順
17	高毛遺跡	三好郡池田町高毛2809-2他	840㎡ 25㎡	1997. 7. 25～7. 29	谷恒二　大橋育順

第3表　本書所収発掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	調査対象面積 発掘面積	調査期間	調査担当者
Ⅲ	清水遺跡	三好郡三野町大字清水字東籐1408他	23,060㎡ 10,000㎡	1996. 4. 3～7. 31	原芳伸　中南弘史 丸岡偵人　河野遥教
Ⅳ	塩塚遺跡	三好郡三野町清水字塩塚1334他	13,730㎡ 1,950㎡	1996. 4. 3～6. 10	佐野耕市　宮本和明
Ⅴ	お塚古墳	三好郡池田町字トウゲ106-1他	11,806㎡ 6,198㎡	1996. 3. 6～3. 31 4. 1～10. 31	小泉信司　石本卓 白井正道　石本卓
Ⅵ	供養池遺跡	三好郡池田町字クヤウジ4151他	3,728㎡ 1,700㎡	1995. 7. 13～ 1996. 3. 31	造坂俊男　石本卓
Ⅶ	山田遺跡(Ⅱ)	三好郡池田町字ヤマダ	6,470㎡ 1,230㎡	1995. 6. 15～ 1996. 3. 30	小泉信司　佐藤誠二
Ⅷ	山田遺跡(Ⅰ)	三好郡池田町字ヤマダ557他	2,550㎡ 650㎡	1996. 8. 1～9. 30	原芳伸　藤本好浩
Ⅸ	馬路遺跡	三好郡池田町馬路字安永78他	7,740㎡ 650㎡	1998. 4. 2～6. 30	佐野耕市　相原聡
Ⅹ	和田遺跡	三好郡池田町佐野字和田308番地他	2,810㎡ 1,100㎡	1996. 8. 1～9. 31	近藤理　寒川芳裕

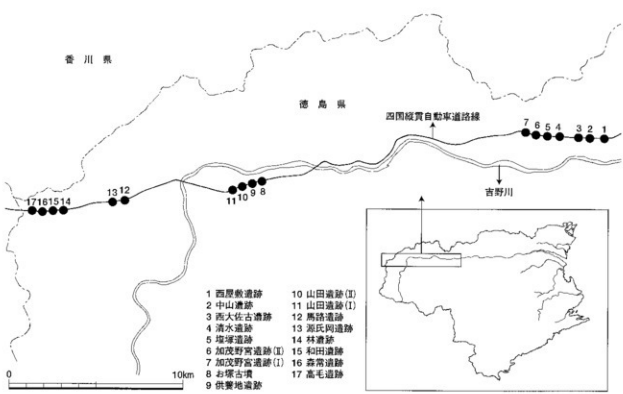
Ⅱ　試掘調査総括

1．本章は、四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財試掘調査のうち、本調査に至らなかった地点の調査総括である。

2．試掘調査の対象地点の所在地・面積・期間・及び担当者については、第Ⅰ章第２～３表を参照されたい。なお、報告書作成の実施期間は以下の通りである。
報告書作成期間　平成15年４月１日～平成17年３月31日

3．本章の遺物番号・写真番号は通し番号とし、出土遺物の観察表については章末にまとめて記載した。

4．本章以降の調査地点位置図の地形図は、国土交通省国土地理院発行の1/25,000地形図を縮小・転載したものである。以下の図幅を使用した。（使用図幅名：貞光、辻、阿波池田、讃岐豊浜）



第１図　試掘調査地点と四国縦貫自動車道路線

1　西屋敷遺跡

遺跡の位置（第２図）

遺跡は、美馬市美馬町字里西屋敷に所在する。阿讃山脈の南側、吉野川左岸の標高130mから140mの洪積世台地上に位置する。分布調査時にサヌカイト片、須恵器片、土師質土器片等を採集しており、弥生時代から中世にかけての遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第３図）

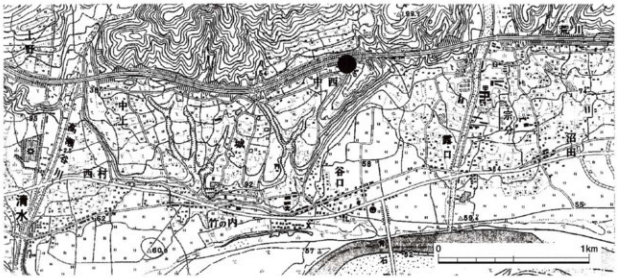
調査対象面積は、24,820m²である。調査にあたっては対象地内を東から西へA、B、C、Dの４調査区に分割し耕作地一筆ごとに１カ所から２カ所のトレンチを設定した。試掘面積は調査対象面積の1.2%にあたる288m²とした。A調査区では、2m×3m～2m×9.5mのトレンチを18ヵ所、B調査区では、2m×3mのトレンチを11ヵ所、　C調査区では、2m×3m～2m×7mのトレンチを10ヵ所、D調査区では、2m×3mのトレンチを９ヵ所設定した。合計48のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

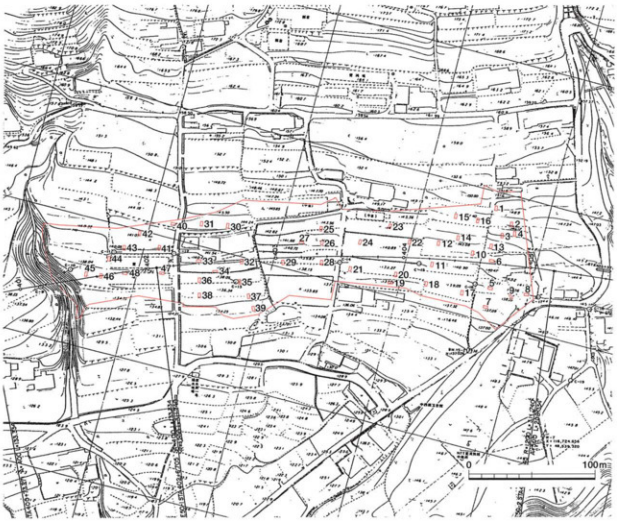
各地区とも基本層序はほぼ同一である。第１層（耕作上）、第２層（にぶい黄褐色粘質土）、第３層（にぶい黄橙色粘質土）、第４層（にぶい黄橙色粘質土、砂岩大量に含む、地山）の層序を成す。なお、第２層及び第３層は５cmから15cm程度の礫を多量に含有し北側に隣接する阿讃山脈から押し出して堆積したものと思われる。

まとめ

今回の調査地点では、いずれも遺物包含層、遺構面の確認はできなかった。第７・13・24・31・32トレンチからごく微量の遺物を検出したが、小片であるため詳しい年代は不明である。その遺物も検出した層の性格から包含層遺物とは認め難い。なお、今回耕作物などの存在からトレンチ設定できなかった場所についても、周辺のトレンチの状況や地形条件から再試掘の必要はない。従って今回の調査対象地においては試掘調査のみで終了した。



第２図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第３図　調査地点位置詳細図（S=1/3000）

2　中山遺跡

遺跡の位置（第４図）

遺跡は、美馬市美馬町中山に所在する。吉野川北岸の城・中西地区の標高140m前後の更新世台地上の山裾部に展開する。分布調査時に弥生土器や土師器が採集されており、弥生時代もしくは中世の遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第５図）

調査対象面積は、11,568m²である。調査にあたっては対象地内を西から東へトレンチを設定した。試掘面積は調査対象面積の1.5%にあたる172m²とした。１m×4mのトレンチを３ヵ所、２m×４mのトレンチを20ヵ所設定した。合計23のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

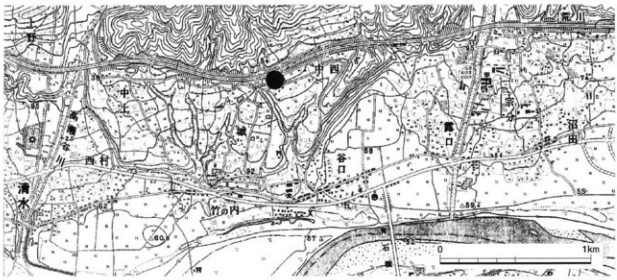
第１～３トレンチでは、既に耕作土は除去されており、第１層は田地造成のための客土が約60cm盛られている。第２層は地山である明黄褐色岩盤層である。第４～23トレンチでは、同じく耕作土は既に除去されており、その下には客土が盛られている。第２・３層中には、炭化物が比較的多量に含まれている。第４層以下は、明黄褐色岩盤層で地山といえる。

まとめ

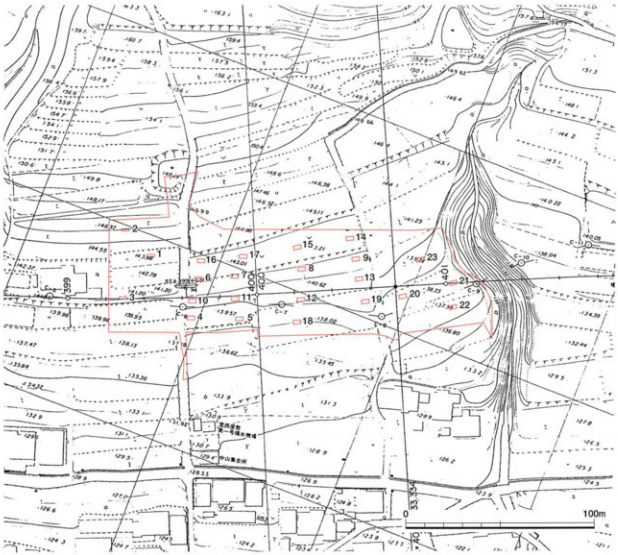
今回の調査地点では、いずれも遺物包含層、遺構面の確認はできなかった。炭化物を比較的多量に含む第２・３層が検出されたが、遺物は出土しておらず、包含層とは認め難い。おそらく田地造成以前の旧耕作土と考えられる。よって遺跡の存在する可能性は希薄であると判断した。従って今回の調査対象地においては試掘調査のみで終了した。

調査日誌抄

1995（平成７）年
４月26日　試掘調査、第１～５トレンチ、重機掘削
４月27日　試掘調査、第６～13トレンチ、重機掘削
４月28日　試掘調査、第14～21トレンチ、重機掘削
５月１日　実績報告書作成
５月２日　実績報告書作成
５月８日　試掘調査、第22・23トレンチ、重機掘削
５月９日　後片付け
５月10日　実績報告書作成
５月11日　実績報告書作成
５月12日　実績報告書作成



第４図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第５図　調査地点位置詳細図（S=1/2000）

3　西大佐古遺跡

遺跡の位置（第６図）

遺跡は、美馬市美馬町字突落に所在する。吉野川北岸台地、北から南に向かって緩やかに傾斜する大佐古の扇状地に位置する。標高は130m～138mで、現況は宅地及び水田である。分布調査時に弥生時代および中世の土器片が採集されており、弥生時代もしくは中世の遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第７図）

調査対象面積は、一次・二次合わせて4,724m²である。試掘面積は調査対象面積の3.2%にあたる153m²とした。調査にあたっては、一次では対象地内で11ヶ所のトレンチを、二次では５ヵ所のトレンチを設定した。２ｍ×３ｍのトレンチを1ヵ所、２ｍ×４ｍのトレンチを４ヵ所、２ｍ×4.5mのトレンチを１ヵ所、２ｍ×５ｍのトレンチを4ヵ所、3.5m×６ｍのトレンチを１ヵ所、短辺1.61m～1.91m、長辺4.20m～6.03mのトレンチを5ヵ所設定した。合計16のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

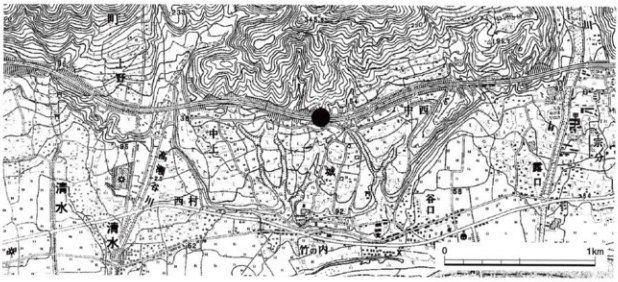
第３トレンチを除いた１～11すべてのトレンチにおいて、大佐古谷の影響を受け上層から下層にかけて、砂や礫・砂礫層の互層を呈している。また第３トレンチは隣接している阿讃の山麓の押し出しによる山土の層となっている。第2・3・6・8・10トレンチでは、地表下約１～1.8mで地山が検出された。第12・13・15・16トレンチにおいては、表土直下より宅地・水田造成の際の客土、その下に谷の影響を強く受けた砂礫層となっている。第14トレンチにおいては、表土直下より堅い岩盤層となっている。

まとめ

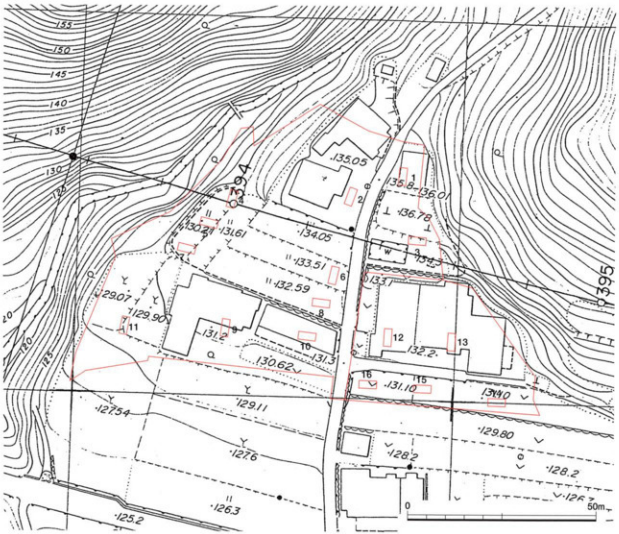
今回の調査地点では、いずれも遺物、遺構面の確認はできなかった。第１～11トレンチ（３トレンチを除く）については大佐古谷の流れの影響を長期間にわたって受けていたことが伺える。なおかつ近年の宅地や田畑の造成によりかなりの地形の改変を受けていたことがわかった。また、第３トレンチについては山土の押し出しの影響が認められ遺構を検出することはできなかった。よって遺跡の存在する可能性は希薄であると判断した。従って今回の調査対象地においては試掘調査のみで終了した。

調査日誌抄

1996（平成８）年
６月４日　試掘調査、トレンチ写真、土層断面図



第６図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第７図　調査地点位置詳細図（S=1/1000）

4 清水遺跡

遺跡の位置（第８図）

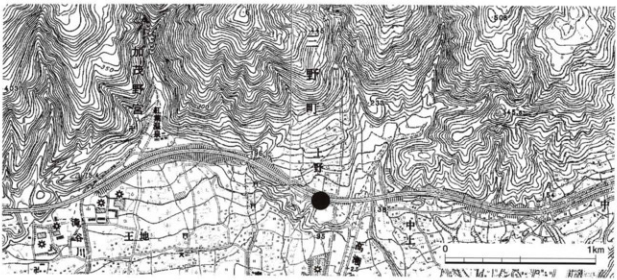
遺跡は、三好郡三野町大字清水字東に所在する。吉野川北岸の標高135m～165m前後の山麓台地上に位置する。調査区の東側は平坦だが、西側は急傾斜しており、現況は段々畑である。分布調査時においてサヌカイト製石鏃・チップ、須恵器片、土師質土器等を採取しており、弥生から中世にかけての遺跡の存在が予想された。調査区周辺には、高地性集落の可能性が高い大谷尻遺跡（館山遺跡）、弥生時代の集落と思われる西大佐古・久保田遺跡がある。

トレンチの設定（第９図）

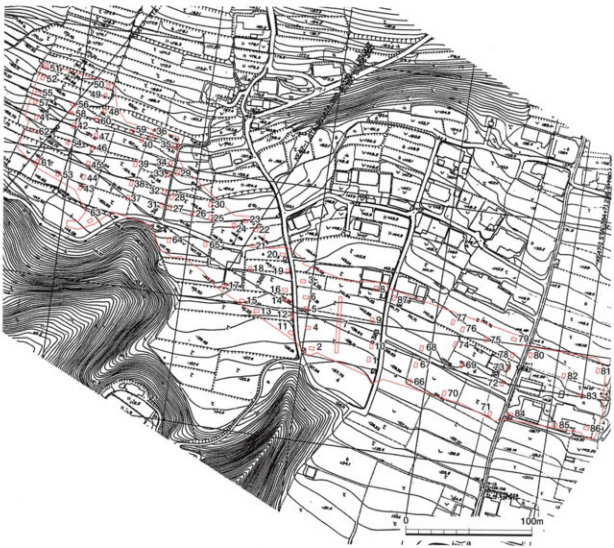
調査対象面積は、23,060m²である。調査にあたっては対象地内で当初87ヶ所のトレンチを設定した。試掘面積は調査対象面積の３％にあたる692m²とした。２m×３mのトレンチを58ヵ所、２m×４mのトレンチを28ヵ所、２m×60mのトレンチを１ヵ所設定した。以上のようにトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

西側の調査区では、ほとんどのトレンチにおいて表土（耕作土・盛土）、オリーブ褐色の自然堆積層（土器を含む流れ込み）、褐色の自然堆積層（地山の押し出し、砂礫層）、地山の層序となっている。この土器を含む流れ込みは、第22・24・25・26・27・28・31・35トレンチにおいてみられる。平坦な東側では、表土直下地山のトレンチもあるが、表土・にぶい黄褐色の包含層、遺構面が形成される褐色の自然堆積層、自然堆積層（地山の押し出し）、地山の層序がみられる。包含層は地表面から約10～20cmの浅いところにあり、場所によっては表土直下遺構面となるところもある。第68・72・73トレンチから、遺構面と思われる層に掘り込んだ柱穴状の遺構を検出した。第２・３・７・11・14・15・16・21・35・67・70・79トレンチの包含層と、第12・66トレンチの盛土からは土師器片が出土した。第4トレンチの盛土と、第24・31トレンチの自然堆積層からは陶磁器が出土した。第22トレンチの包含層からは、土師器片や羽釜口縁部・煮沸具脚部・陶磁器が出土した。第24トレンチの自然堆積層からは、土師器片や陶磁器が出土した。第68トレンチの包含層からは、弥生土器片（甕）が出土した。第69トレンチの耕作土中からは陶磁器が、包含層からは、弥生土器が出土した。第86トレンチの包含層からは、土師器片や陶器（備前焼）が出土した。東側に関しては、安定した包含層、遺構面と考えられる層があり、遺構・遺物ともに検出された。



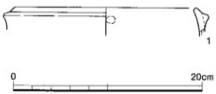
第 8 図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



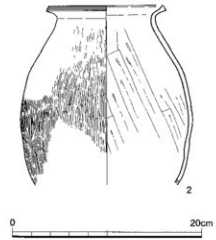
第 9 図　調査地点位置詳細図（S=1/3000）

出土遺物（第10・11図）

1は中世の羽釜口縁部である。口径は19cmを測る。2は弥生時代後期後半から古墳時代前期初頭の甕で、胎土観察から搬入品の可能性がある。口縁部外面は凹線文2条、頸部内外面はヨコナデ、体部内面は縦にヘラケズリを施し、外面は斜めにヘラミガキを施す。



第10図　第22トレンチ出土土器



第11図　第68トレンチ出土土器

まとめ

今回の調査地点では、調査区内側においては、流れ込みと思われる層から土器を検出したが、安定した層から、遺構・遺物は検出されなかった。遺構面と考えられる層もないことから、本調査の必要はないと判断した。しかし、東側に関しては、安定した包含層、遺構面と考えられる部分があり、遺構・遺物ともに検出された。以上のことにより、調査区東側に関しては本調査を行う必要があると判断した。

調査日誌抄

1994（平成6）年

10月11日　試掘作業開始
10月12日　試掘トレンチ掘削作業
10月13日　試掘トレンチ掘削作業
10月14日　試掘トレンチ掘削作業
10月17日　試掘トレンチ掘削作業
10月18日　試掘トレンチ掘削作業
10月19日　試掘トレンチ掘削作業
10月20日　試掘トレンチ掘削作業
10月21日　試掘トレンチ掘削作業
10月24日　試掘トレンチ掘削作業
10月25日　試掘トレンチ掘削作業
10月26日　試掘トレンチ掘削作業
10月27日　試掘トレンチ掘削作業
10月28日　試掘トレンチ掘削作業
10月31日　試掘トレンチ掘削作業
11月1日　試掘トレンチ掘削作業
11月2日　試掘トレンチ掘削作業
11月4日　試掘トレンチ掘削作業
11月7日　試掘トレンチ掘削作業
11月8日　試掘トレンチ掘削作業
11月9日　試掘トレンチ掘削作業
11月10日　試掘トレンチ掘削作業
11月11日　試掘トレンチ掘削作業
11月14日　試掘トレンチ掘削作業
11月15日　試掘トレンチ掘削作業
11月16日　試掘トレンチ掘削作業
11月17日　試掘トレンチ掘削作業

5 塩塚遺跡

遺跡の位置（第12図）

遺跡は、三好郡三野町大字清水字塩塚に所在する。吉野川北岸、阿讃山脈南側の標高120m～130m台の洪積世台地上に位置する。滝谷川の堆積作用によって形成された扇状地の扇頂部東南端にあたる。調査区西・南区は、南西に向かう傾斜地で、東区は東南に向かう傾斜地で、北は急傾斜で山につながる。調査区内には、比高差15m程度の円錐状の小山塊（塩塚）が存在し、その頂上部には丸山神社が鎮座する。このような地形状況からみて遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第13図）

調査対象面積は、１次・２次調査合わせて13,730m²である。試掘面積は調査対象面積の2.8%にあたる382m²とした。調査にあたっては、1次では対象地内の南区には、南から西へ16トレンチ、西区には15トレンチを設定した。２次では、東側の緩斜面に７トレンチ、西側の小山塊に５トレンチを設定した。2m×5mのトレンチを31ヵ所、2m×3mのトレンチを12ヵ所設定した。合計43のトレンチを設定して遺構・遺物の確認に努めた。

基本層序

調査区西・南区においては薄く表土がのるが、表土も礫が風化したものであり、礫層の状態に違いはあるもののすべて礫層である。東側の緩斜面や小山塊も基本的にはすべて礫層である。北東部、塚の西側において１次では、一部安定した面（近世の遺構面）が存在したが、２次では検出できなかった。

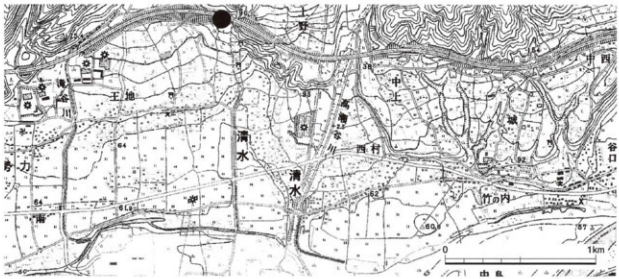
まとめ

１次の調査地点では、西・南区においては遺物・包含層、遺構面の確認はできなかった。北東部、塚の西側の第10・14トレンチにおいて、近世の遺構・遺物が検出された。２次では、第１～11トレンチまでは、遺構・遺物ともに検出できなかった。第12トレンチ（小山塊頂上部）では、第２層に埋没する形で割石の石組を検出した。出土遺物を伴わないことから時期を特定することはできないが、人為的な構築物である可能性が高いと思われる。上記の結果から、西・南区と東側の緩斜面に関しては遺跡の存在する可能性は極めて低く、発掘調査の必要性はないと判断した。しかし、西側部分については、小山塊及びその周辺の本調査を行う必要があると判断した。

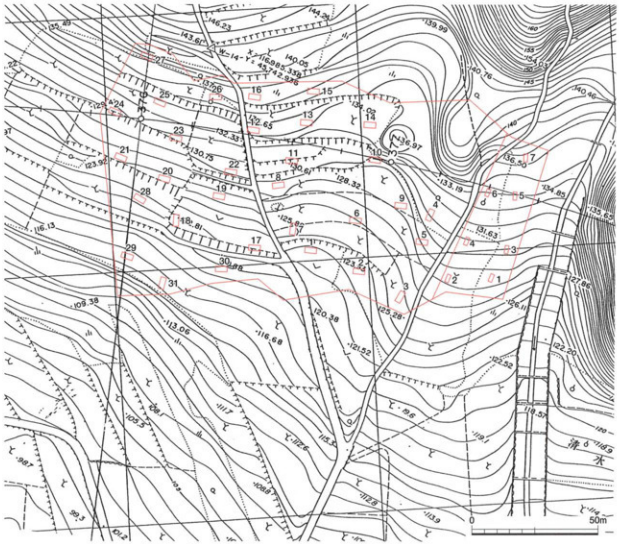
調査日誌抄（１次調査）

1995（平成７）年

１月24日　現場移動	２月１日　試掘調査、第22～27トレンチ
１月25日　午前中待機　午後試掘整理	２月２日　試掘調査、第28～31トレンチ
１月26日　試掘調査開始	２月３日　荷物運搬
１月27日　センターで試掘整理	２月６日　試掘整理
１月30日　試掘調査、第８～14トレンチ	２月７日　試掘整理
１月31日　試掘調査、第15～21トレンチ	２月８日　試掘整理



第12図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第13図　調査地点位置詳細図（S=1/1500）

6 加茂野宮遺跡（Ⅱ）

遺跡の位置（第14図）

遺跡は、三好郡三野町加茂野宮字東王子に所在する。吉野川北岸、阿讃山脈南麓の標高120mである。調査対象地は、滝谷の扇状地の扇頂部に位置する。調査区全体は、南に向かう緩やかな傾斜地である。地形的にみて、確認調査が必要と考えられた。

トレンチの設定（第15図）

調査対象面積は、9,955m²である。調査にあたっては、西から東へ向かって20トレンチを設定した。試掘面積は調査対象面積の３％にあたる300m²とした。３m×５mのトレンチを20ヵ所設定した。合計20のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

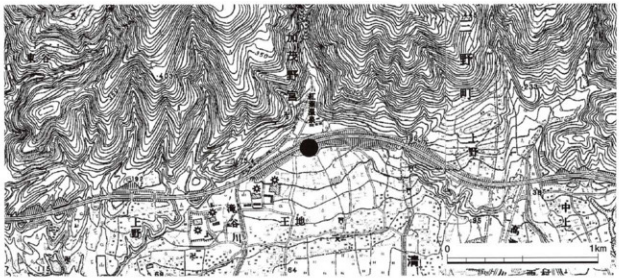
調査区全体において薄く表土がのるが、表土も礫が風化したものであり、礫層の状態に違いはあるもののすべて礫層である。

まとめ

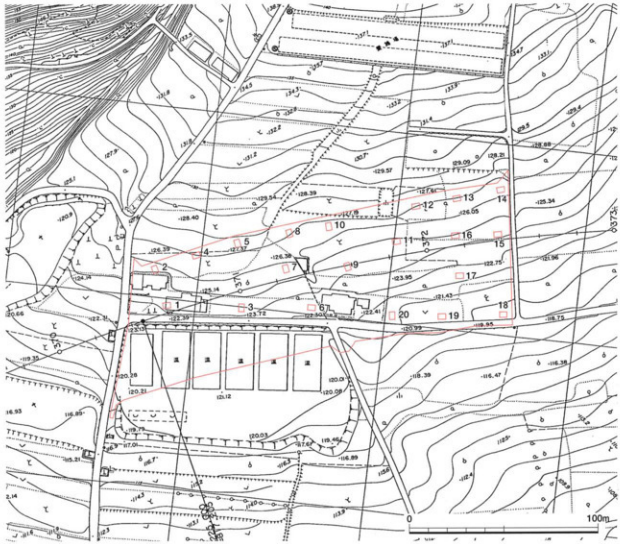
今回の調査区全体においては、すべて礫層であり、遺構・遺物・包含層等検出されず、土層状況からみても、本調査の必要性はない。また、今回未調査部においても、建築物構築時の削平が大きく、遺跡の存在する可能性は、希薄であると判断した。従って、今回の調査対象地においては、試掘調査のみで終了した。

調査日誌抄

1995（平成７）年
１月20日　試掘調査、第１～10トレンチ
１月23日　試掘調査、第10～20トレンチ



第14図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第15図　調査地点位置詳細図（S=1/2000）

7 加茂野宮遺跡（Ⅰ）

遺跡の位置（第16図）

遺跡は、三好郡三野町加茂野宮字北西王子に所在する。吉野川北岸、阿讃山脈南麓の標高100m付近に立地する。

調査対象地は、滝谷の扇状地の扇頂部に位置する。調査区全体は、南西に向かう緩やかな傾斜地で、北西は急傾斜で山につながる。地形的にみて、確認調査が必要と考えられた。

トレンチの設定（第17図）

調査対象面積は、11,244m²である。調査にあたっては、西側に14トレンチ、東側に11トレンチを設定した。試掘面積は調査対象面積の３％にあたる340m²とした。３ｍ×４ｍのトレンチを20ヵ所、４ｍ×５ｍのトレンチを５ヵ所設定した。合計25のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

調査区全体において薄く表土がのるが、表土も礫が風化したものであり、礫層の状態に違いはあるもののすべて礫層である。

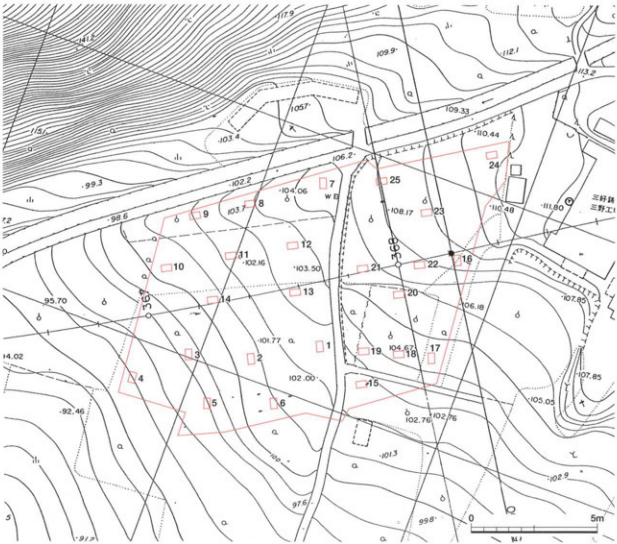
まとめ

今回の調査区全体においては、すべて礫層であり、遺構・遺物・包含層等検出されず、土層状況からみても、遺跡の存在する可能性は希薄であると判断した。従って、今回の調査対象地においては試掘調査のみで終了した。

調査日誌抄

1995（平成７）年
１月９日　試掘調査準備
１月10日　現地確認
１月11日　挨拶回り
１月12日　挨拶回り
１月13日　挨拶回り、レベル移動、物品確認
１月17日　荷物運搬
１月18日　試掘調査、第１～14トレンチ
１月19日　試掘調査、第15～25トレンチ

第16図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第17図　調査地点位置詳細図（S=1/1500）

8　お塚古墳

遺跡の位置（第18図）

遺跡は、三好郡池田町字トウゲに所在する。吉野川南岸上流域の標高109m～130mの河岸段丘面に位置する。調査対象地は南北にのびた大山谷とトウゲ谷に挟まれた段丘面上にあり、北西に向かって緩やかに傾斜している。池田町内ではお塚さんと呼ばれ、古くから信仰の対象になっているものの中に古墳と考えられるものがあり、調査対象地区でも２基確認されている。また、調査対象地より南の山間部では、トウゲ谷古墳群、北側では供養地古墳群の存在が知られている。調査区西側にはトウゲ谷を円形状に掘り込んだ地形を呈し、この地点が古文書における東善寺溜池にあたると言われ、東善寺がこの周辺に所在したと言われる。表採資料では、須恵器、土師質土器、陶磁器が確認されており、古墳時代から中世の遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第19図）

調査対象面積は、11,806m²である。調査にあたっては西から東へ向かって72トレンチを設定した。試掘面積は調査対象面積の３％にあたる354m²とした。1.5m×４mのトレンチを64ヵ所、1.5m×５mのトレンチを８ヵ所設定した。合計72のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

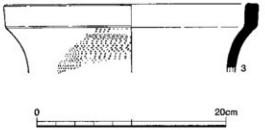
第１～17トレンチでは、耕作土、床土を除去した後は黄褐色砂質土、暗灰黄色砂質土等の谷筋からの流れ込みが認められ、褐色砂質土の地山が検出された。第18～22・25～29・35・36・38・39・44～53・68・69・71・72トレンチでは遺物、遺構の検出が行われた。しかし、包含層は現代の水田面構築時削平を受けておりほとんど残存していない。第42・43・54・55・56～63・65～67トレンチでは耕作土、床土を除去した後は灰白砂質土、灰オリーブ砂質土が部分的に堆積し、岩盤が検出された。

出土遺物（第20・21・22・23・24・25・26・27図）

３は焼き締め陶器と思われる壺である。４は磁器皿である。内面と外面体部に釉を施し、見込み蛇の目釉剥ぎである。５は陶器碗である。６は釜の脚部である。７は須恵器甕と思われる。８は土師質土器の杯である。底面に回転ヘラケズリを施している。９は釜の脚部である。10は須恵器甕と思われる。外面体部にタタキを施している。11は瓦器椀である。12は土師質土器の釜である。

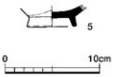
第18図　調査地点位置図（S=1/2.5万）

第19図　調査地点位置詳細図（S=1/2500）

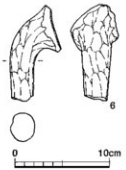


第20図　第1トレンチ出土土器

第21図　第20トレンチ出土土器

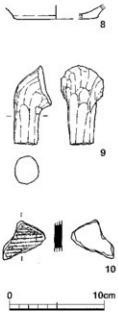


第22図　第46トレンチ出土土器

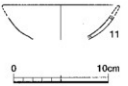


第23図　第61トレンチ出土土器

第24図　第72トレンチ出土土器



第25図　包含層出土土器



第26図　第20トレンチ出土土器

第27図　第38トレンチ出土土器

まとめ

今回の調査地点では、安定した包含層は検出されなかったが、所々のトレンチで土坑、ピット、溝状遺構が検出された。中世（13～15世紀）の須恵器、土師質土器、瓦器椀が出土している。包含層については、田畑造成時に削平を受けているものと思われる。また、同様のことは、遺構面にも認められる。

しかし、調査対象地区の北側部分では遺構面が広がっており、本調査を行う必要があると判断した。

調査日誌抄

1995（平成７）年

１月19日　試掘調査、第１～４トレンチ開口、図面、写真
１月20日　試掘調査、第５～７トレンチ開口、図面、写真
１月23日　図面整理
１月24日　試掘調査、第８～13トレンチ開口、第８～12トレンチは図面、写真
１月25日　図面整理
１月26日　試掘調査、第12～14トレンチ開口、第13～17トレンチは図面、写真
１月27日　試掘調査、第18～20トレンチ開口、第18～20トレンチは図面、写真
１月30日　試掘調査、第21～25トレンチ開口、図面、写真
１月31日　試掘調査、第26～30トレンチ開口、図面、写真
２月１日　試掘調査、第31～36トレンチ開口、図面
２月２日　試掘調査、第37～42トレンチ開口、図面
２月３日　試掘調査、第43～52トレンチ開口
２月６日　試掘調査、第53～55トレンチ開口
２月７日　試掘調査、第56～60トレンチ開口
２月８日　試掘調査、第61～66トレンチ開口
２月９日　試掘調査、第68～72トレンチ開口
２月10日　物品撤出

9 供養地遺跡

遺跡の位置（第28図）

遺跡は、三好郡池田町クヤウジに所在する。吉野川南岸上流域の標高118m～130m前後の河岸段丘面に位置する。北に向かって緩やかに傾斜する地形を呈し、東側には名子谷が位置する。現況は東側のA地点では段々畑、原野、西側のB地点では原野である。分布調査の資料では、A地点において土師質土器細片と陶磁器が数点確認されており、中世の遺跡の存在が予想された。B地点においては、聞き取り調査により西法寺跡所在の可能性が出てきたため、A地点の試掘対象面積を一部B地点に移動し試掘調査を行った。なお、名子谷周辺の対象地区に関しては伐採した木の移動が困難なため試掘調査に入れなかった。

トレンチの設定（第29図）

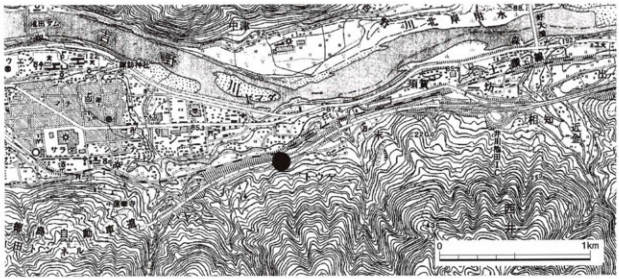
調査対象面積は、3,728m²である。調査にあたっては、A地点では短辺1.5m、長辺2m～10mのトレンチを14ヵ所、B地点では1.5m×3mのトレンチを3ヵ所設定した。試掘面積は調査対象面積の3％にあたる111m²とした。合計17のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

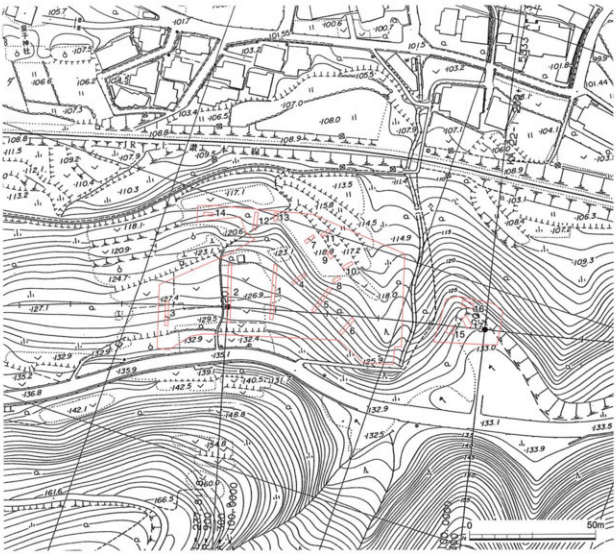
A地点では、第1～3トレンチにおいて耕作土を除去した後、黄褐色砂質土の地山面が検出された。第4～11トレンチでは、耕作土・山土を除去した後、黄褐色砂質土、オリーブ褐色砂質土、暗褐色砂質土等の押し出し土が堆積している。12層の暗褐色砂質土は土器を包含し、その下に褐色砂質土の遺構面が存在する。第12～14トレンチでは、粘性の強い褐色砂質土、黄褐色砂質土等の堆積が認められており谷筋の影響を受けている。B地点では、第15・16トレンチは撹乱が入り、褐色砂質土、明褐色砂質土等の、谷筋の影響を受けた粘性の強い土が堆積している。第17トレンチは地表面より撹乱が入っている。

出土遺物（第30・31・32・33図）

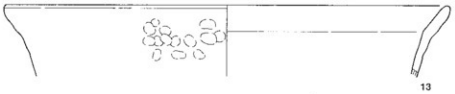
13は釜と思われる。14は陶器の大鉢と思われる。15・16は土師質土器杯である。17は須恵器甕と思われる。18は須恵器壺と思われる。19は須恵器甕 と思われる。 20は土師質土器釜と思われる。体部外面にタタキ、体部内面にハケを施している。

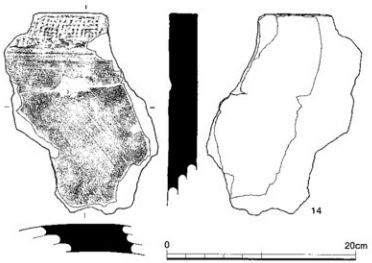


第28図　調査地点位置図（S=1/2.5万）

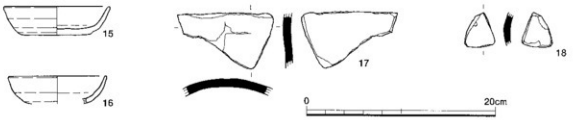


第29図　調査地点位置詳細図（S=1/1500）

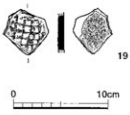




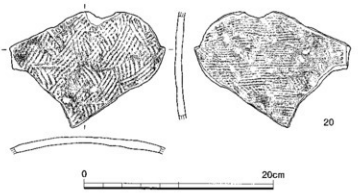
第30図　第5トレンチ出土土器



第31図　第9トレンチ出土土器



第32図　第10トレンチ出土土器



第33図　包含層出土土器

まとめ

今回の調査地点では、包含層は部分的にしか存在せず、遺構面も削平を受けているところもあるが、中世の石組遺構、土坑等が検出された。緩傾斜地西側中央部分から東側部分にかけては中世の遺構面が検出されたことから、この部分について本調査を行う必要があると判断した。

調査日誌抄

1994（平成６）年
12月５日　試掘作業開始
12月６日　試掘トレンチ掘削作業
12月７日　試掘トレンチ掘削作業
12月８日　試掘トレンチ掘削作業
12月９日　センターで作業
12月12日　試掘トレンチ掘削作業
12月13日　試掘トレンチ掘削作業
12月14日　試掘トレンチ掘削作業
12月15日　試掘トレンチ掘削作業
12月16日　試掘トレンチ掘削作業
12月19日　試掘トレンチ掘削作業
12月20日　試掘トレンチ掘削作業
12月21日　試掘トレンチ掘削作業
12月22日　試掘トレンチ掘削作業、センターで作業
12月26日　供養地Ｂ地点移動、客土除去
12月27日　供養地Ｂ地点移動、客土除去
12月28日　御用納め

1995（平成７）年
１月４日　仕事始め
１月５日　供養地Ｂ地点、客土除去
１月６日　供養地Ｂ地点、試掘調査、第１トレンチ、開口、客土除去
１月９日　供養地Ｂ地点、試掘調査、第１トレンチ、図面、写真、客土除去
１月10日　供養地Ｂ地点、試掘調査、第２トレンチ、開口、図面、客土除去
１月11日　供養地Ｂ地点、客土除去
１月12日　供養地Ｂ地点、客土除去
１月13日　供養地Ｂ地点、客土除去
１月17日　供養地Ｂ地点図面整理
１月18日　供養地Ｂ地点、試掘調査、第３トレンチ、開口、物品移動

10 山田遺跡（Ⅱ）

遺跡の位置（第34図）

遺跡は、三好郡池田町ヤマダに所在する。吉野川南岸上流域の標高107m～114mの河岸段丘面に位置する。地形は北に向かって緩やかに傾斜し、調査対象地区の西側中央部には調査区を分断する形で南北に谷筋が存在する。現況は段々畑、墓地である。分布調査の資料では、土師質土器と須恵器の細片が数点確認されており、中世の遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第35図）

調査対象面積は、１次・２次合わせて6,470m²である。試掘面積は調査対象面積の4.4%にあたる285m²とした。調査にあたっては、１次では対象地内の東から西へ短辺１m～２m、長辺２m～10mのトレンチを53ヵ所、２次では、短辺１m～２m、長辺1.5m～３mのトレンチを11ヵ所設定した。合計64のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

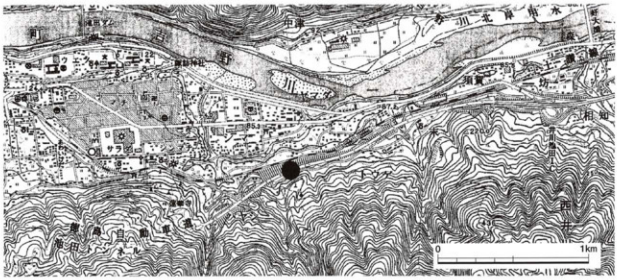
１次では、第１～53トレンチにおいて、耕作土・床土までは同じ土層であるが、以下の土層は地形的な要因から山土の押し出しの影響を受けているトレンチと影響を受けていないトレンチとに分けられる。床土のはがね層（褐色砂質土）、客土（黄褐色砂質土、オリーブ褐色砂質土）、地山の押し出し土（黄褐色砂質土、及び粘質土、にぶい黄褐色砂質土）もしくは粘土（緑灰色粘土、暗オリーブ灰粘土）となっている。また、大部分のトレンチから客土が検出されており、田畑造成時にかなりの削平を受けているものと思われる。２次では、Y-１～Y-８トレンチにおいて耕作土・床土を除去後、褐色粘質土の包含層が部分的に残存している。Y-９～Y-10トレンチは、耕作土除去後、黄褐色砂礫層が検出された。Y-11トレンチは、暗灰黄色砂質土の山土の押し出し土が堆積している。

出土遺物（第36・37・38・39・40・41・42・43・44図）

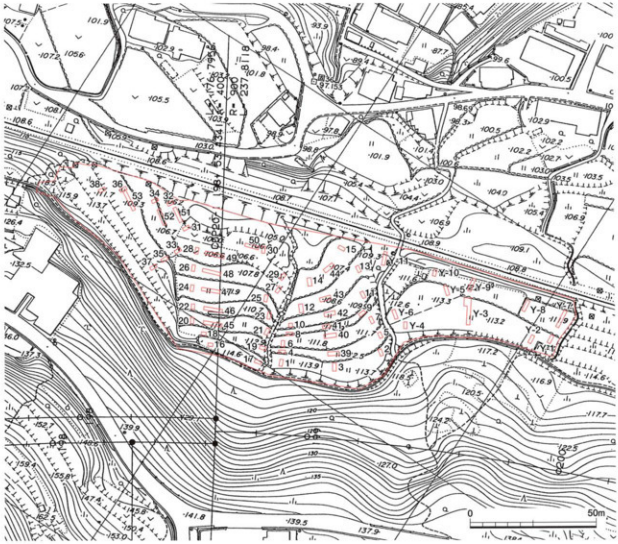
21、32は弥生時代後期～古墳時代前期の高杯と甕である。22・33は中世の釜の脚部である。23は瓦器椀である。24・26・29・30は杯である。25・28は蓋である。27・31は甕である。27は外面体部にタタキを施している。28は須恵器甕か壺と思われる。31は須恵器と思われる。34は石製紡錘車である。

まとめ

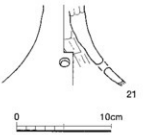
今回の調査地点では、Y-３トレンチより土坑が検出された。また、遺構面上層には包含層が東側部分にかけて削平を受けているが残存している。調査対象地東側半坦地に一部田畑による削平は受けているものの、中世の遺構面が広がっているものと思われる。よって、半坦地の1,230m²で本調査を行う必要があると判断した。



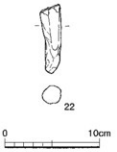
第34図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



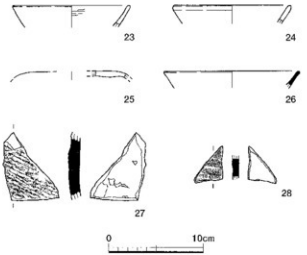
第35図　調査地点位置詳細図（S=1/1500）



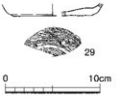
第36図　第3トレンチ出土土器



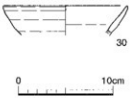
第37図　A-3 トレンチ出土土器（1）



第38図　A-3 トレンチ出土土器（2）

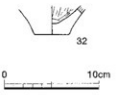


第39図　第22トレンチ出土土器

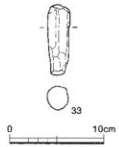


第40図　第36トレンチ出土土器

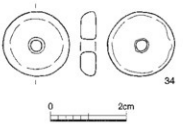
第41図　第41トレンチ出土土器



第42図　第52トレンチ出土土器



第43図　包含層出土土器



第44図　第44トレンチ出土石器

11 山田遺跡（Ⅰ）

遺跡の位置（第45図）

遺跡は、三好郡池田町ヤマダに所在する。吉野川南岸上流域の標高150m～170mを計る。四国山地の一部分が北に張り出した尾根の北面に位置し、鳥山谷川に沿った山間部の北面に位置する。分布調査の資料では、土師質土器や陶磁器などの土器片を採取しており、中世の遺跡の存在が予想された。また、本地点の西側に一枚岩が大きくせり出して庇状の景観を呈する状況が２ヵ所あり、岩陰遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第46図）

調査対象面積は、１次・２次合わせて2,550m²である。調査にあたっては、１次では対象地内の南から北へ１m×２mのトレンチを１ヵ所、１m×３mのトレンチを３ヵ所、1.5m×３mのトレンチを９ヵ所、２次では、0.2m×0.5mのトレンチを2ヵ所、0.2m×１mのトレンチを４ヵ所設定した。試掘面積は調査対象面積の2.1％にあたる53m²とした。合計19のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

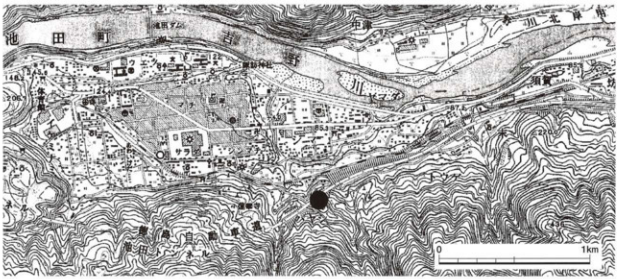
１次では、第１～13トレンチにおいて、耕作土・床土を除去後、にぶい黄色の泥岩をブロック状に含むおおむね赤褐色の粘性がややある地山を検出した。２次では、トレンチA-1～C-2については明黄褐色砂質土、鈍い黄褐色砂質土、黄褐色砂質土、黄褐色の岩盤の順に堆積している。遺構面は黄褐色砂質土上面に形成される可能性がある。

出土遺物（第47・48・49図）

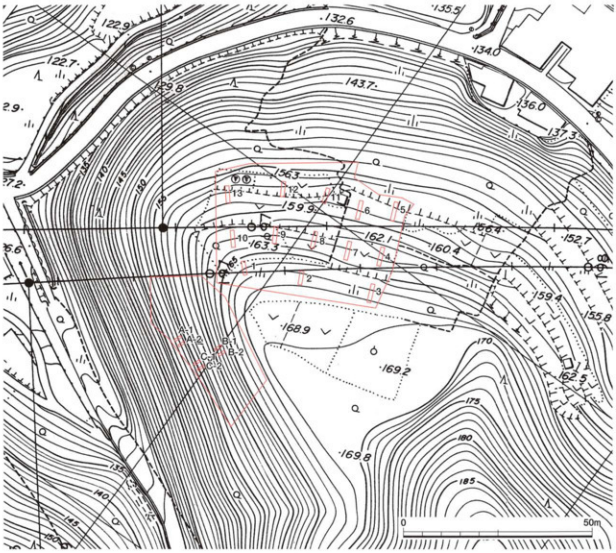
35は弥生時代中期後半～後期の甕である。36・37・38・39・40は椀、杯、もしくは皿である。39・40は外面底面は回転ヘラケズリ後ナデを施している。41はサヌカイトの楔形石器である。42・43はサヌカイトの剥片である。44は結晶片岩の石鏃である。

調査日誌抄

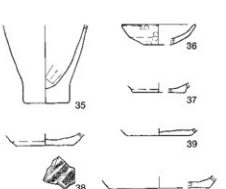
1994（平成６）年
９月５日　試掘調査、第１～３トレンチ終了
９月９日　試掘調査、第11～13トレンチ終了(開口のみ）岩陰部分掘り下げ
９月12日　試掘調査、第11～13トレンチ終了、岩陰部分片づけ
11月22日　試掘調査開始、A地区掘り下げ
11月24日　試掘調査開始、A地区掘り下げ
11月30日　試掘調査開始、B・C地区掘り下げ



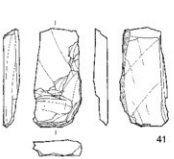
第45図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



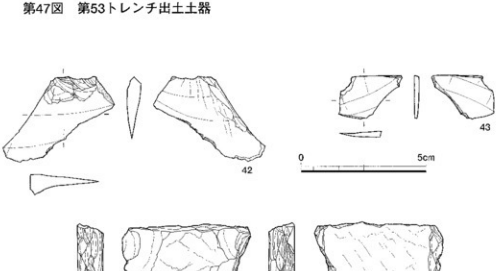
第46図　調査地点位置詳細図（S=1/1000）



第47図　第53トレンチ出土土器



第48図　出土石器（1）



第49図　出土石器（2）

まとめ

今回の調査地点では、第1～13トレンチにおいては、遺構・遺物ともに検出されなかった。地形的な条件（急斜面）という状況から、遺跡の存在する可能性は希薄であると判断した。トレンチA-1からはにぶい黄褐色砂質土上面で焼土痕が検出され、黄褐色砂質上上面からは上器細片が出土した。土器は細片のため時期確定は困難であるが縄文もしくは中世に属するものと思われる。黄褐色砂質土は各トレンチで対応しており安定した遺構面は存在すると思われる。トレンチA-1～C-2については明確な遺構は検出されなかった。しかし、地形的な条件や、土器を検出したことにより岩陰遺跡の可能性は高い。よって650m²の本調査を行う必要があると判断した。

12 馬路遺跡

遺跡の位置（第50図）

遺跡は、三好郡池田町馬路字安永に所在する。吉野川の支流の馬路川の北岸、標高240m～270mの傾斜地に位置する。馬路川との比高差は約70mを計る。調査区周辺は深谷川など深い谷がいくつかあり、急斜面や急崖が多く起伏の激しい地形である。調査区は、北方には阿讃山脈がひかえ、東西南の三方は急崖となっている。また、中央構造線系の断層による地滑りによって生じたと思われるやや平坦な面と独立丘陵が見られる。分布調査の資料でも、土師質土器や瓦質土器を採取しており、中世の遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第51図）

調査対象面積は、7,740m²である。調査にあたっては、西側（丘陵部分）に36トレンチ、東側（平坦部分）に10トレンチを設定した。試掘面積は調査対象面積の4.1%にあたる320m²とした。丘陵頂部分では、主に石積古墓の時期や規模の確認を行った。また丘陵裾部分では、主に城跡に関係する堀跡等の遺構や遺物の検出に努め、トレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

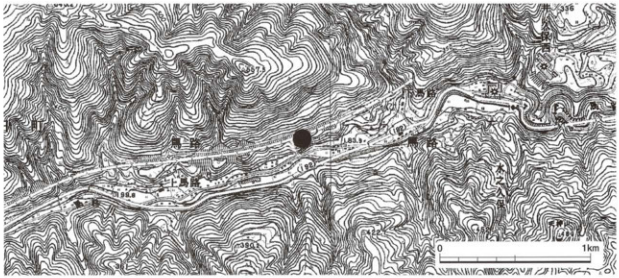
ほとんどのトレンチ設定場所においては、表土直下が黄褐色の砂岩の角礫を多く含んだしまりのない粘質土層で、その下の層は直径1cm以下の砂岩の角礫を主とする砂礫層で、さらにその下の層はやや赤みを帯びた砂岩の角礫を多く含む粘質土層となっている。表土直下に砂礫層の見られるトレンチ設定箇所もあり、畑を開墾する際にかなりの削平があったものと思われる。

出土遺物（第52・53・54・55・56図）

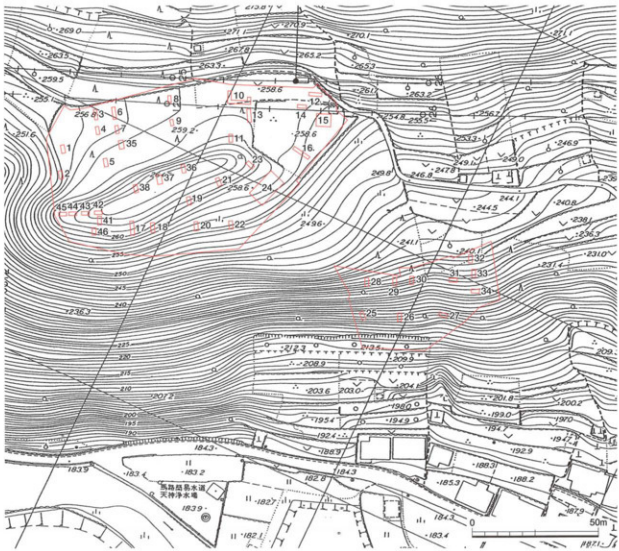
45は灯明皿である。46は陶器の甕である。47は杯である。48・49・50・51は羽釜である。52は砥石である。53・54は台石である。46～51は中世（14～15世紀）に属するものと考えられよう。

まとめ

今回の調査地点では、丘陵頂部分以外のトレンチ設定箇所においては近年の開墾によるかなりの削平の痕跡がみられる。中世以前の遺構は検出されなかった。中世の遺物が剥合数多く出土した第15トレンチにおいても旧耕作土中からの出土であり、原位置を留めるような状況にはない。おそらくは近年の開墾の際に寄せ集めてきた土の中に混入していたものであると考えられる。当該地より中世以前の遺構が検出される可能性は極めて低いと考えられる。丘陵頂の中世墓と思われる石積みも一部には近年のなんらかの改変を与えたらしい痕跡も見うけられるものの、本調査を行い、なお慎重な確認が必要なものと思われる。よって、調査範囲を丘陵頂部分に絞り、本調査を行う必要があると判断した。

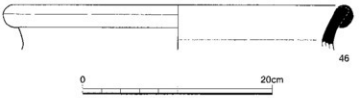


第50図　調査地点位置図（S=1/2.5万）

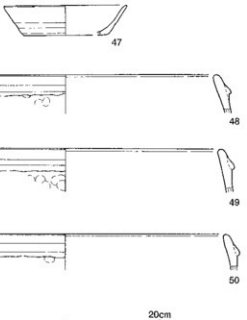


第51図　調査地点位置詳細図（S=1/1500）

第52図　表土出土土器

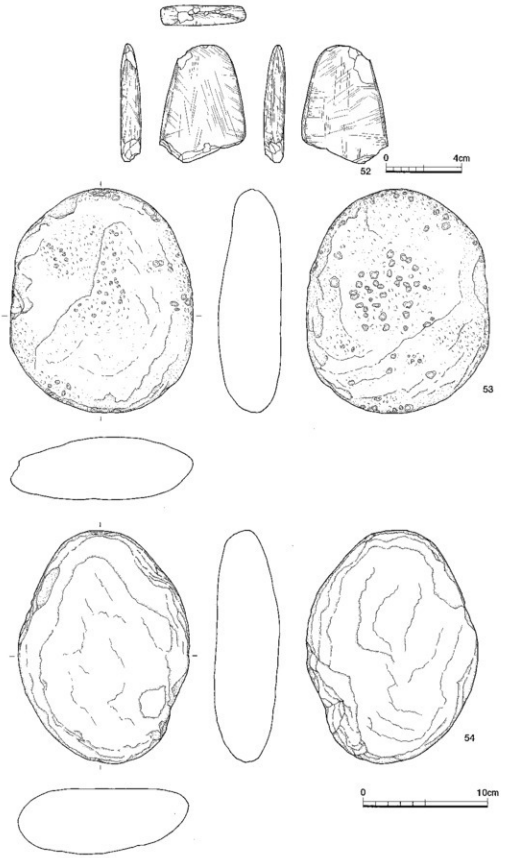


第53図　第10トレンチ出土土器



第54図　第15トレンチ出土土器

第55図　第26トレンチ出土土器



第56図　第24トレンチ出土石器

13 源氏岡遺跡

遺跡の位置（第57図）

遺跡は、三好郡池田町馬路字源氏岡に所在する。阿讃山脈の西端部の南麓にあり、斜面と馬路川に向かって緩やかに傾斜する地形の交換点にあたり、標高259m～265mに位置する。現況は段々畑、荒れ地である。分布調査の資料でも、土師質土器片を採取している。調査地区北隣には、塚があったと考えられる祠の跡及び丘陵跡があり、中世の遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第58図）

調査対象面積は、1,180m²である。調査にあたっては、調査地の中で最も塚に近い南西側上の畑から傾斜に沿って東に向かって８本と北側の斜面に３本のトレンチを設定した。そして最後に第３′～４トレンチの地山層の広がりに従って約80m²のトレンチを拡張し、合計12のトレンチを設定して遺構検出・遺構完掘・遺物の確認に努めた。試掘面積は調査対象面積の14.8%にあたる175m²とした。

基本層序

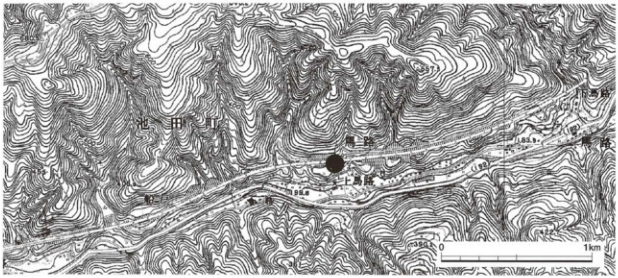
基本土層は、耕作土層、床土、盛り土及び客土層、地山の押し出し層、地山層であり、部分的に旧耕作土層、旧客土層が地山の押し出し層上にある。

まとめ

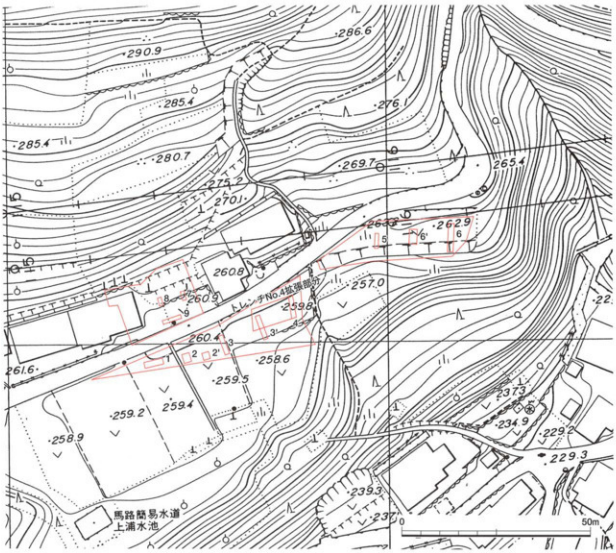
今回の調査地点では、調査対象となる遺構面の確認はできなかった。また、遺物（縄文土器片２点）の採取を見たものの、その包含層に当たる層や遺構構築面に当たる層も確認されず、近世の自然流路が残っているにすぎない。よって遺跡の存在する可能性は希薄であると判断した。従って今回の調査対象地においては試掘調査のみで終了した。

調査日誌抄

1998（平成10）年
4月10日　事前準備、物品搬入、杭打ち確認の為現地確認午後より
4月17日　事前準備、　プレハブ建設、建設（業者）立ち合い、レベル杭打ち
4月21日　試掘調査、第１・２トレンチ開口、地山か地 山の押し出しと思われる層の確認
4月30日　試掘調査、第７・９トレンチ開口、人力掘削、精査 、第４トレンチ拡張
5月12日　埋め戻し、第４トレンチ、拡張部分レベルを図面に記入
5月13日　埋め戻し、第４トレンチ、完了、物品整理、搬出
5月14日　とりまとめ（遺物発見届け・報告書作成）
5月15日　とりまとめ（遺物発見届け・保管書作成・遺物・実績報告書作成）
5月25日　整理作業（実績報告書完成）、物品整理



第57図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第58図　調査地点位置詳細図（S=1/1000）

14 林遺跡

遺跡の位置（第60図）

遺跡は、三好郡池田町佐野に所在する。阿讃山脈の西端部の南麓にあり、斜面と馬路川に向かって緩やかに傾斜する地形の交換点にあたり、標高263m～273mに位置する。現況は段々畑、宅地である。分布調査の資料でも、弥生土器、中世の土師質土器、瓦質土器を採取している。調査地区の近辺には、佐野城主の居宅跡がある。以前より弥生時代から中世の遺物の散布地であると考えられ、遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第61図）

調査対象面積は、2,210m²である。調査にあたっては、調査地の南側斜面から掘削を開始し、傾斜に沿って13ヵ所設定した。最後に第10トレンチの平坦部の張り出しに沿って約50m²のトレンチに拡張した。試掘面積は調査対象面積の5.9%にあたる130m²とした。合計13のトレンチを設定して遺構、遺物の確認に努めた。

基本層序

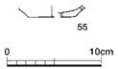
基本土層は、耕作土層、盛り土及び客土層、地山層であり、部分的に旧耕作土層、旧客土層が地山層にのっている。第10トレンチ部分でのみ、中世と考えられる土師質土器、瓦質土器、スラッグなどを含む遺構面の存在が確認された。しかし、調査地全体に遺跡面が広がるとは考え難い。

出土遺物（第59図）

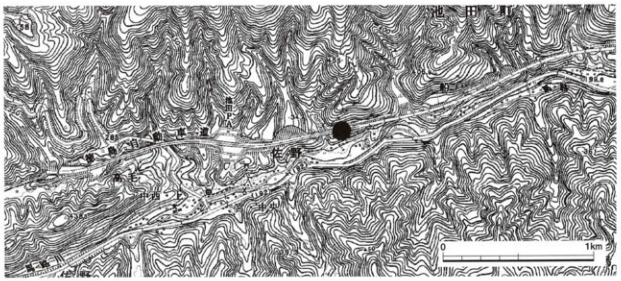
55は中世の土師質土器の杯である。外部底面は静止ヘラ切りを施していると思われる。

まとめ

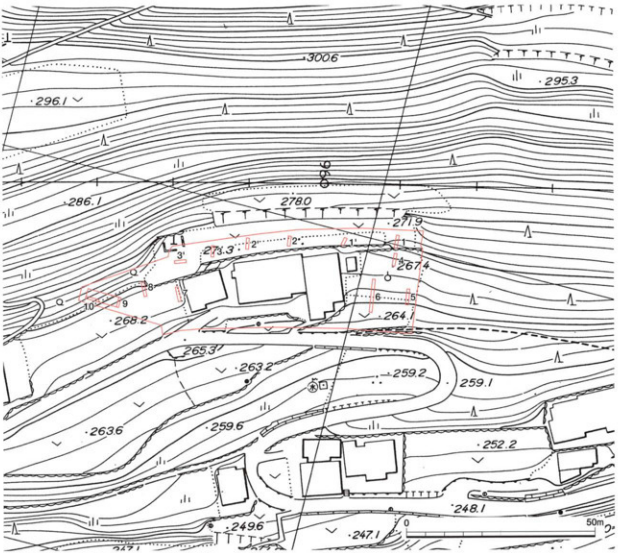
今回の調査地点では、一部を除いて調査対象となる遺構・遺物の確認はなかった。また、包含層に当たる層や遺構構築面に当たる層も拡張部分以外には認められなかった。よって遺跡の存在する可能性は希薄であると判断した。従って今回の調査対象地においては試掘調査のみで終了した。



第59図　第10トレンチ出土土器



第60図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第61図　調査地点位置詳細図（S=1/1000）

15 和田遺跡

遺跡の位置（第66図）

遺跡は、三好郡池田町佐野字和田に所在する。馬路川北方の標高276m前後の河岸段丘上に位置し、南は小さな河川によって深く開析され、その開析された対岸に戦国期の佐野城主の居宅跡がある。

トレンチの設定（第67図）

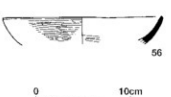
調査対象面積は、2,810m²である。調査にあたっては、２ｍ×３ｍのトレンチを16ヵ所、１ｍ×８ｍのトレンチを３ヵ所設定した。合計19のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。試掘面積は調査対象面積の14.8%にあたる120m²とした。

基本層序

第１層は耕作土である。第2層はにぶい褐色土である。第３層・第４層は明褐色土の地山である。第５層も明褐色土の地山でありやや粘質性を帯びる。第６層は攪乱層であった。

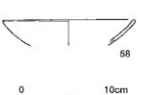
出土遺物（第62・63・64・65図）

56は須恵器椀である。外面体部はミガキ、上位をヨコナデ、下位でミガキを施している。57は土師質焙烙である。外面体部は上位を指オサエ後ナデ下位板ナデ(幅1.9cm)を施している。58は土師器椀である。59はサヌカイトの剥片である。

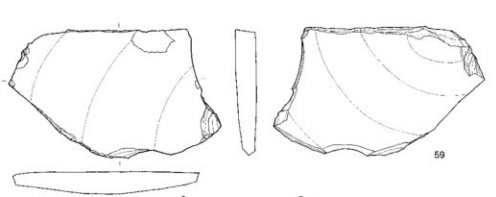


第62図　第10トレンチ出土土器

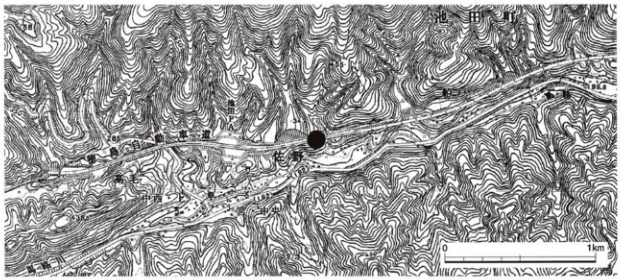
第63図　第12トレンチ出土土器



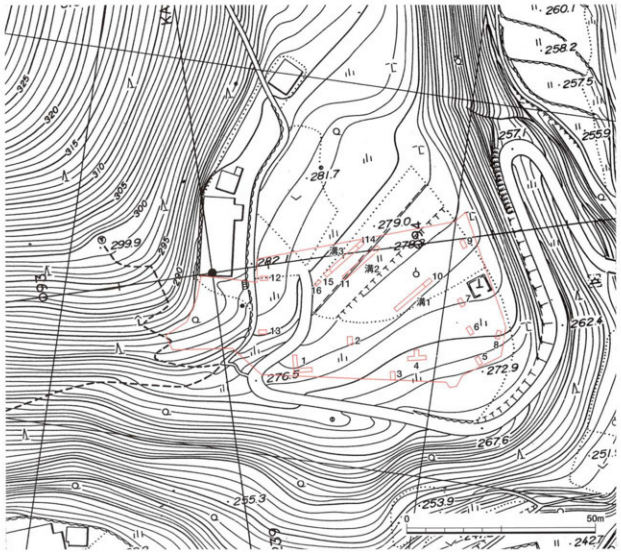
第64図　溝２出土土器



第65図　第10トレンチ出土石器



第66図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第67図　調査地点位置詳細図（S=1/1000）

まとめ

今回の調査地点では、第９～16トレンチ周辺は約50年前に現在の水田を造成した際かなりの削平を受けている状況ではあるが、第４・10・14・15・16・トレンチに中世の自然流路的な大溝と思われる遺溝面が残存している。よって当該地区については、本調査を行う必要があると判断した。その他の地区については、耕作土の直下は地山になっており、近代以前の遺溝が残存する可能性は極めて低いと考えられ、本調査の必要性はないと判断した。

調査日誌抄

1996（平成８）年
６月３日　挨拶回り（道路公団・地権者）、現場視察
６月４日　調査準備
６月５日　調査開始、除草、試掘調査、第１トレンチ掘削
６月６日　試掘調査、第２～16トレンチ掘削、みきわめ
６月７日　試掘調査、第17トレンチ掘削、図面作成、写真撮影、みきわめ
６月８日　図面作成、写真撮影、埋め戻し、除草
６月10日　整理作業

16 森常遺跡

遺跡の位置（第68図）

遺跡は、三好郡池田町字初草に所在する。阿讃山脈の西端部にあり、南に大きく張り出した尾根状の地形で、標高303m～314mに位置する。周辺には、小さい谷が南の馬路川に無数に流れているため、起伏の多い地形を呈する。調査地区の近辺には、佐野城主の居宅跡がある。以前より弥生時代から中世の遺物の散布地であると考えられ、遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第69図）

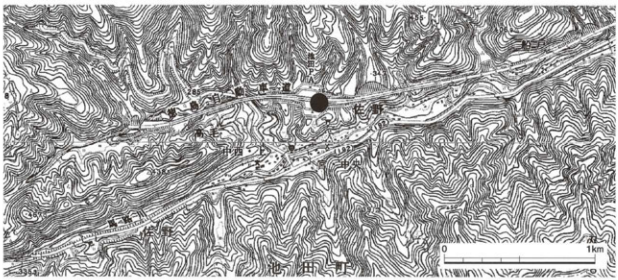
調査対象面積は、1,510m²である。調査にあたっては、調査地の西側斜面から掘削を開始し、南北斜面に沿って12ヵ所設定した。最後に尾根の張り出しに沿って約25mのトレンチを設定した。試掘面積は調査対象面積の６％にあたる90m²とした。合計13のトレンチを設定して遺構の確認に努めた。

基本層序

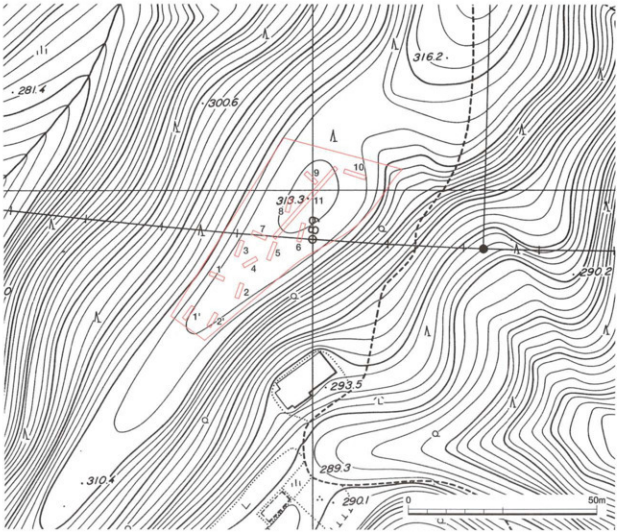
基本土層は、表土層、山土の押し出し層、地山層であり、近世から現代の墓の跡は確認できたものの、弥生時代から中世の遺構、遺物は全く確認されなかった。山土の押し出し層は、地山上に厚く堆積し、自然環境の影響などが考えられた。

まとめ

今回の調査地点では、いずれも遺物包含層、遺構面の確認はできなかった。よって遺跡の存在する可能性は希薄であると判断した。従って今回の調査対象地においては試掘調査のみで終了した。59はサヌカイトの剥片である。



第68図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第69図　調査地点位置詳細図（S=1/1000）

17 高毛遺跡

遺跡の位置（第70図）

遺跡は、三好郡池田町高毛に所在する。阿讃山脈の西端部にあり、南に大きく張り出した尾根状の地形で、標高317m～320mに位置する。周辺には、泥谷川などの小さい谷が南の馬路川に無数に流れているため、起伏の多い地形を呈する。現況は池田町の共同墓地となっている。調査地区の近辺には、佐野城主の居宅跡がある。以前より弥生時代から中世の遺物の散布地であると考えられ、遺跡の存在が予想された。

トレンチの設定（第71図）

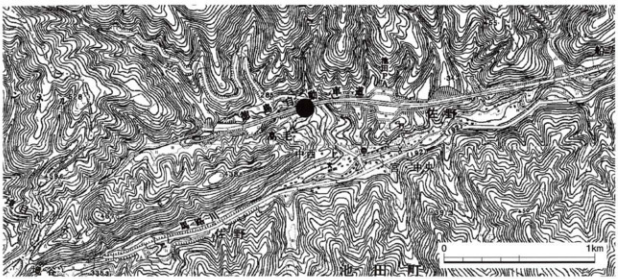
調査対象面積は、840m²である。調査にあたっては、調査地の西側斜面から掘削を開始し、南北斜面に沿って３ヵ所設定して遺構の確認に努めた。試掘面積は調査対象面積の３％にあたる25m²とした。

基本層序

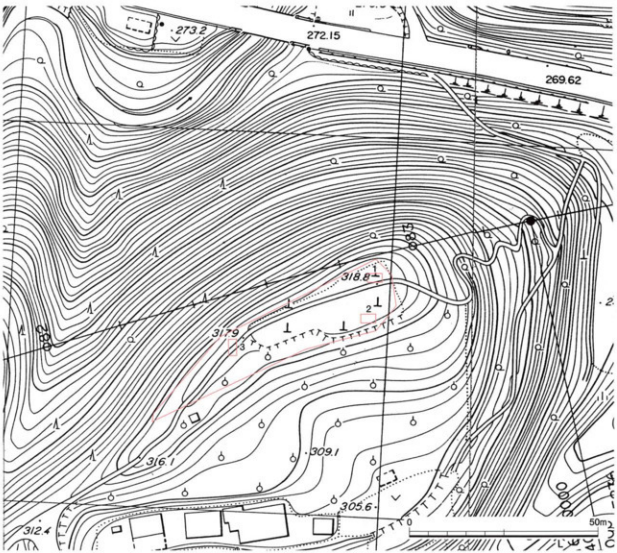
基本土層は、表土層、攪乱及び客土層、地山層であり、近世から現代の墓の跡は確認できたものの、弥生時代から中世の遺構、遺物は全く確認されなかった。攪乱及び客土層は地山層直上に堆積し、人為的な埋葬の影響などが考えられた。

まとめ

今回の調査地点では、いずれも遺物包含層、遺構面の確認はできなかった。よって遺跡の存在する可能性は希薄であると判断した。従って今回の調査対象地においては試掘調査のみで終了した。



第70図　調査地点位置図（S=1/2.5万）



第71図　調査地点位置詳細図（S=1/1000）

第1表　清水遺跡試掘調査　出土遺物観察表　土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部最大径(cm)	底径(cm)	頸部径(cm)	器高(cm)	その他の法量(cm)	技法・文様	色調	胎土		搬入品
1	第22トレンチ	上師器 羽釜	1/20	19.0	–	–	–	(3.0)	–	外:口縁部:ヨコナデ 内:口縁部:指オサエ後ヨコナデ	内・外:にぶい橙	石、長、雲、赤		
2	第68トレンチ	上師器 甕	1/7	12.0	18.2	–	10.4	(19.0)	–	外:口縁部:凹線文2条、頸部:ヨコナデ、体部:ヘラミガキ(幅0.2cm) 内:口縁頸部:ヨコナデ、体部:ヘラケズリ(幅1.7cm以上)	内・外:にぶい橙	石、長、雲、角、赤		ヲスリ?

第2表　お塚古墳試掘調査　出土遺物観察表　土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部最大径(cm)	底径(cm)	頸部径(cm)	器高(cm)	その他の法量(cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入品
3	第1トレンチ	焼き締め陶器?甕	1/12	26.4	–	–	20.0	(7.3)	–	外:口縁頸部:回転ナデ 内:口縁部:回転ナデ	外:橙 内:にぶい橙	石、長、雲、赤	
4	第26トレンチ	磁器 皿	2/3	–	–	4.1	–	(1.4)	高台高 0.4	外:体部:ロクロナデ・施釉、底部底面:ロクロナデ 内:体部:ロクロナデ・施釉・見込み蛇の目釉剥ぎ	内・外:グレイみの黄		
5	第46トレンチ	陶器 碗	1/1	–	–	5.1	–	(2.2)	高台高 0.9	外:体部:ロクロナデ・施釉、底部底面:ロクロナデ 内:体部:ロクロナデ・施釉	外:濃い黄みのブラウン 内:グレイみのブラウン		
6	第61トレンチ	土師質 釜脚部	不明	–	–	–	–	–	長さ(10.15) 幅(5.4)	外:脚部:指オサエ・指ナデ 内:脚部:指オサエ・指ナデ	外:明黄褐 内:明赤褐	石、長、雲	
7	第72トレンチ	須恵器 甕?	不明	–	–	–	–	–	長さ(3.4) 幅(5.0) 厚さ(0.85)	外:体部:ナデ 内:体部:ナデ	外:灰 内:灰	石、雲、赤	
8	包含層	土師質 皿	1/5	–	–	8.9	–	(1.45)	–	外:底部:ナデ、底面:回転ヘラケズリ 内:底部:ナデ	外:明褐 内:明褐	石、雲、赤	
9	包含層	釜 脚部	不明	–	–	–	–	–	長さ(8.35) 幅(3.9)	外:脚部:指オサエ・指ナデ 内:脚部:指ナデ	外:浅黄橙 内:浅黄橙	石、雲、赤	
10	包含層	須恵器 甕?	不明	–	–	–	–	–	長さ(4.05) 幅(4.5) 厚さ(0.75)	外:体部:タタキ(幅約1cm/3条以上) 内:体部:ナデ	外:灰 内:灰	石、雲、赤	
11	第20トレンチ	瓦器 椀	不明	–	–	–	–	(2.35)	–	外:体部:磨滅の為調整不明 内:体部:磨滅の為調整不明	外:黒 内:黒	石、長、雲、赤	
12	第38トレンチ	土師質 釜	1/20	34.6	–	–	–	(4.6)	–	外:口縁部:指オサエ 内:口縁部:ナデ	外:にぶい黄橙 内:浅黄橙	石、雲、赤	

第3表　供養地遺跡試掘調査　出土遺物観察表　土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部最大径(cm)	底径(cm)	頸部径(cm)	器高(cm)	その他の法量(cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入品
13	第5トレンチ	土師質 鉢・釜?	1/12	46.4	–	–	–	(7.65)	–	外:口縁部:回転ナデ、頸部:指オサエ後ナデ 内:口縁部:回転ナデ、頸部:ナデ	外:明黄褐 内:明黄褐	石、雲、赤	
14	第5トレンチ	土師質 鉢?	不明	–	–	–	–	–	長さ(21.35) 幅(16.3) 厚さ(3.1)	外:体部:ナデ 内:体部:ナデ	外:にぶい黄 内:明灰黄	石、雲、片	
15	第9トレンチ	土師質 杯	2/3	11.0	–	7.3	–	3.0	–	外:口縁体部:回転ナデ、底面:ヘラケズリ後ナデ 内:口縁体部:回転ナデ、底面:ナデ	外:明褐 内:明褐	石、雲、赤	
16	第9トレンチ	土師質 杯	1/6	10.2	–	–	–	(2.35)	–	外:口縁体部:回転ナデ 内:口縁体部:回転ナデ	外:明褐 内:明褐	石、長、雲、赤	
17	第9トレンチ	須恵器 甕?	不明	–	–	–	–	–	長さ(5.9) 幅(10.1) 厚さ(1.0)	外:体部:ナデ 内:体部:ナデ	外:浅黄 内:灰	石、雲、赤	
18	第9トレンチ	須恵器 壺?	不明	–	–	–	–	–	長さ(3.65) 幅(2.15) 厚さ(0.95)	外:体部:ナデ 内:体部:ナデ	外:灰 内:灰	石、雲	
19	第10トレンチ	須恵器 釜?	不明	–	–	–	–	–	長さ(4.75) 幅(4.05) 厚さ(0.65)	外:体部:格子タタキ 内:体部:ハケ(幅#10条以上/1cm)	外:暗赤褐 内:暗赤褐	石、雲	
20	包含層	土師質 釜?	不明	–	–	–	–	–	長さ(12.2) 幅(16.4) 厚さ(1.2)	外:体部:タタキ(幅#5cm×2.3cm:6条以上) 内:体部:ハケ(幅#9条以上/2.5cm)	外:明赤褐 内:黄褐	石、雲、片、赤	

第4表　山田遺跡(Ⅱ)試掘調査　出土遺物観察表　土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部最大径(cm)	底径(cm)	頸部径(cm)	器高(cm)	その他の法量(cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入品
21	第3トレンチ	土師器 高杯脚	1/2	－	－	－	－	(8.4)	－	外:脚部:磨滅の為調整不明(ミガキがあったと思われる。) 内:脚部:指ナデ、ヘラケズリ(幅1.4cm以上)	外:橙 内:橙	石、雲、片、赤	
22	A-3トレンチ	須恵器 脚部	不明	－	－	－	－	－	長さ(7.3) 幅(4.2)	外:脚部:指ナデ	外:明黄褐	石、長、雲、片、赤	
23	A-3トレンチ	瓦器 椀	1/25	12.2	－	－	－	(2.3)	－	外:口縁部:回転ナデ、体部:ナデ 内:口縁部:回転ナデ、体部:ヘラミガキ?(幅0.2cm)	外:褐灰 内:灰	石、赤	
24	A-3トレンチ	土師器 杯	1/8	12.2	－	－	－	(1.9)	－	外:口縁部:ナデ 内:口縁部:ナデ	外:明赤褐 内:明赤褐	石、雲、赤	
25	A-3トレンチ	土師器 蓋	1/10	－	－	－	－	(1.9)	－	外:体部:ナデ 内:体部:ナデ	外:明赤褐 内:明赤褐	石、雲、赤	
26	A-3トレンチ	須恵器 杯	1/12	14.2	－	－	－	(1.8)	－	外:口縁部:回転ナデ 内:口縁部:回転ナデ	外:灰 内:灰	石	
27	A-3トレンチ	須恵器 甕	不明	－	－	－	－	－	長さ(7.2) 幅(3.9) 厚さ(1.3)	外:体部:タタキ(幅#1cm/3条以上) 内:体部:ナデ	外:灰白 内:灰白	石、雲	
28	A-3トレンチ	須恵器 甕(蓋?)	不明	－	－	－	－	－	長さ(3.9) 幅(3.0) 厚さ(0.7)	外:体部:ナデ 内:体部:ナデ	外:灰 内:灰	石、雲	
29	第22トレンチ	土師器 杯	1/4	－	－	8.2	－	(1.2)	－	外:底部:ナデ、底面:回転糸切り 内:底部:ナデ	外:橙 内:橙	石、長、雲、赤	
30	第36トレンチ	土師器 杯	1/6	13.1	－	－	－	(3.1)	－	外:口縁体部:回転ナデ 内:口縁体部:回転ナデ	外:明赤褐 内:明赤褐	石、長、雲、赤	
31	第41トレンチ	須恵器 甕	不明	－	－	－	－	－	長さ(5.75) 幅(6.4) 厚さ(0.7)	外:体部:タタキ(幅#1cm/3条以上) 内:体部:ハケ(幅#5条以上/1cm)	外:黒 内:浅黄	石、長、雲	
32	第52トレンチ	土師器 甕	1/2	－	－	3.6	－	(3.0)	－	外:体底部:磨滅の為調整不明 内:体部:下位ヘラケズリ(幅1.6cm以上)	外:橙 内:褐灰	石、長、雲、赤	
33	YA-8 包含層	須恵器 甕	不明?	－	－	－	－	－	長さ(7.4) 幅(3.35)	外:脚部:指ナデ	外:明黄褐	石、長、雲、片	

第5表　山田遺跡(Ⅰ)試掘調査　出土遺物観察表　土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部最大径(cm)	底径(cm)	頸部径(cm)	器高(cm)	その他の法量(cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入品
35	第53トレンチ	土師器 甕	1/1	－	－	4.5	－	(8.2)	－	外:体底部:磨滅の為調整不明 内:底部:ヘラケズリ(幅1.6cm以上)	外:橙 内:橙	石、長、雲、赤	
36	第53トレンチ	土師器 皿	1/5	7.7	－	2.4	－	2.1	－	外:口縁体部:指オサエ後ナデ 内:口縁体部:ナデ	外:橙 内:橙	石、雲、赤	
37	第53トレンチ	土師器 皿	1/4	－	－	5.6	－	(1.0)	－	外:底部:ナデ、底面:磨滅の為調整不明 内:底部:ナデ	外:橙 内:橙	石、雲、赤	
38	第53トレンチ	土師器 皿?	1/12	－	－	6.0	－	(1.25)	－	外:底部:ナデ 内:底部:ナデ	外:明赤褐 内:褐灰	石、雲	
39	第53トレンチ	土師器 皿	1/4	－	－	6.8	－	(0.7)	－	外:底部:ナデ、底面:回転ヘラ切り後ナデ 内:底部:ナデ	外:橙 内:橙	石、雲、赤	
40	第53トレンチ	土師器 皿	1/16	－	－	10.6	－	(1.2)	－	外:底部:ナデ、底面:回転ヘラケズリ後ナデ 内:底部:ナデ	外:橙 内:橙	石、雲、赤	

第6表　馬路遺跡試掘調査　出土遺物観察表　土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部最大径(cm)	底径(cm)	頸部径(cm)	器高(cm)	その他の法量(cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入品
45	表土	陶器 灯明皿	2/3	7.8	－	4.6	－	1.0	－	外:口縁部体底部:ロクロナデ、口縁部:施土 内:口縁部体底部:ロクロナデ、施土	内・外:にぶい赤褐	石、雲、赤	備前系?
46	第10トレンチ	焼き締め陶器?甕	1/18	35.0	－	－	－	(4.75)	－	外:ロクロナデ 内:口縁部:ロクロナデ	外:橙 内:橙	石、雲、赤	
47	第15トレンチ	土師質 杯	1/5	12.9	－	8.6	－	3.1	－	外:口縁体部:回転ナデ、底面:ナデ 内:口縁体部:回転ナデ	外:にぶい橙 内:にぶい黄橙	石、長、雲、赤	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部最大径(cm)	底径(cm)	頸部径(cm)	器高(cm)	その他の法量(cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入品
48	第15トレンチ	土師質 羽釜	1/20	31.6	−	−	−	(4.1)	−	外口縁部:回転ナデ、体部:上位指オサエ後ナデ 内口縁体部:ナデ	外:橙 内:橙	石、長、雲、赤	
49	第15トレンチ	土師質 羽釜	1/20	32.7	−	−	−	(4.6)	−	外口縁部:回転ナデ、体部:上位指オサエ後ナデ 内口縁体部:ナデ	外:明褐 内:橙	石、長、雲、赤	
50	第15トレンチ	土師質 羽釜	1/16	33.8	−	−	−	(3.8)	−	外口縁部:回転ナデ、体部:上位指オサエ後ナデ 内口縁体部:ナデ	外:明赤褐 内:橙	石、長、雲、赤	
51	第26トレンチ	土師質 羽釜	1/16	33.4	−	−	−	(2.75)	−	外口縁部:回転ナデ、体部:上位指オサエ後ナデ 内口縁体部:ナデ	外:橙 内:橙	石、雲、赤、長	

第7表　林遺跡試掘調査　出土遺物観察表　土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部最大径(cm)	底径(cm)	頸部径(cm)	器高(cm)	その他の法量(cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入品
55	第10トレンチ	土師質 杯	1/3	−	−	3.0	−	(1.2)	−	外底部:磨滅の為調整不明、底面:静止ヘラ切り? 内底部:磨滅の為調整不明	外:橙 内:橙	石、雲、赤	

第8表　和田遺跡試掘調査　出土遺物観察表　土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部最大径(cm)	底径(cm)	頸部径(cm)	器高(cm)	その他の法量(cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入品
56	第11トレンチ	須恵器 椀	1/8	16.6	−	−	−	(2.9)	−	外口縁部:回転ナデ、体部:ケズリ 内口縁部:ヨコナデ、体部:ミガキ	外:灰白 内:黄灰	石、雲、赤	
57	第12トレンチ	土師質 皿焼	1/12	28.4	−	−	−	(3.4)	−	外口縁部:ヨコナデ、体部:上位指オサエ後ナデ底板ナデ(幅1.9cm) 内口縁体部:ヨコナデ	外:にぶい橙 内:にぶい橙	石、長、雲、赤	
58	溝2	土師器 椀	1/16	13.9	−	−	−	(2.7)	−	外口縁体部:ナデ 内口縁体部:ナデ	外:淡黄橙 内:淡黄橙	石、長、雲、赤	

第9表　山田遺跡(Ⅱ)試掘調査　出土遺物観察表　石器

番号	遺構名・出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重量(g)	備考
34	第44トレンチ	紡錘車	3.4	3.5	0.8	18.2	

第10表　山田遺跡(Ⅰ)試掘調査　出土遺物観察表　石器

番号	遺構名・出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重量(g)	備考
41	第3層	楔形石器	3.9	1.9	0.65	6.7	サヌカイト
42	埋土	剥片	3.4	4.4	0.8	5.2	サヌカイト
43	前回試掘埋土分	剥片	1.7	2.45	0.25	0.7	サヌカイト
44	埋土	石鏃	4.75	6.75	1.35	60.7	

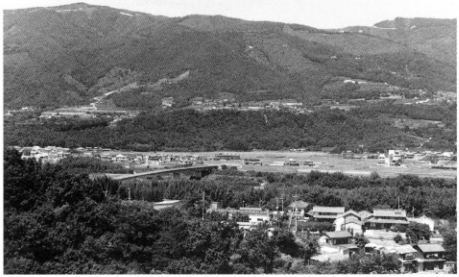
第11表　馬路遺跡試掘調査　出土遺物観察表　石器

番号	遺構名・出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重量(g)	備考
52	第24トレンチ	砥石	6.2	4.5	1.05	29.17	
53	第24トレンチ	台石	17.65	14.4	4.9	2106.7	
54	第24トレンチ	台石	18.4	13.45	5.15	1850.2	結晶片岩

第12表　和田遺跡試掘調査　出土遺物観察表　石器

番号	遺構名・出土地点	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重量(g)	備考
59	第10トレンチ	剥片	5.1	8.4	0.9	48.2	サヌカイト

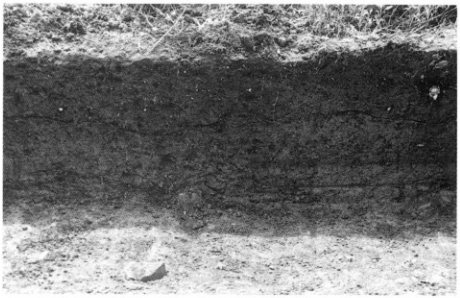
西屋敷遺跡　図版1



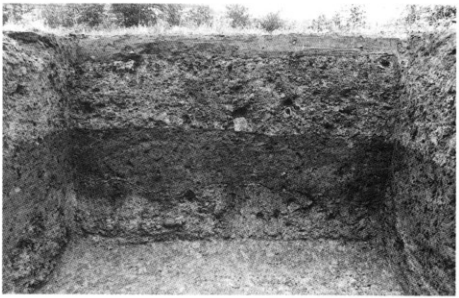
全体風景（南から）

第29トレンチ土層堆積状況

第22トレンチ完堀状況



第10トレンチ土層堆積状況



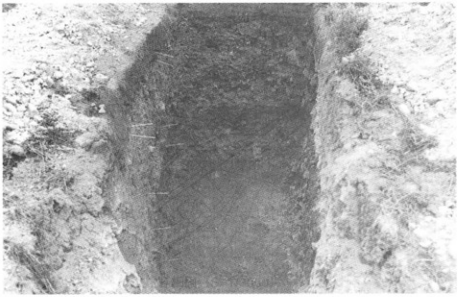
第21トレンチ土層堆積状況

第2トレンチ完堀状況

西大佐古遺跡１次　図版３

調査前風景（北から）

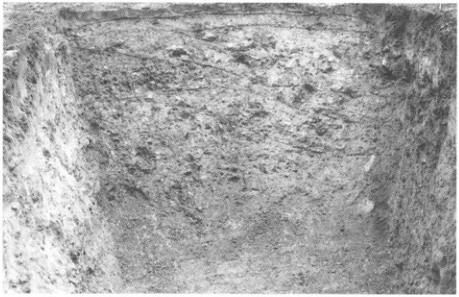
第９トレンチ遺物検出状況



第５トレンチ完堀状況

調査前風景

第12トレンチ土層堆積状況



第15トレンチ土層堆積状況

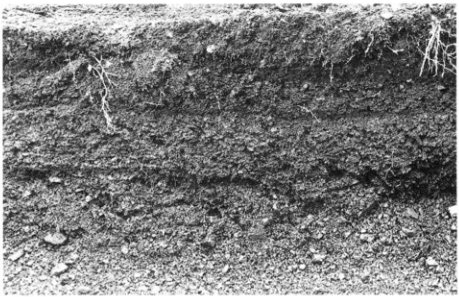
清水遺跡　図版5

調査前風景

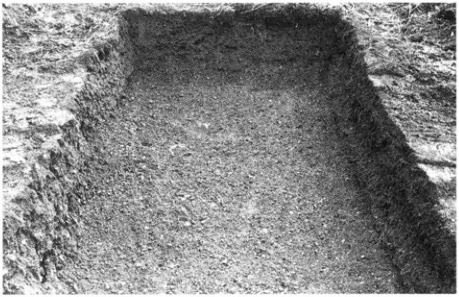
第68トレンチ土器出土状況

第7トレンチ完堀状況

調査前風景



第７トレンチ土層堆積状況

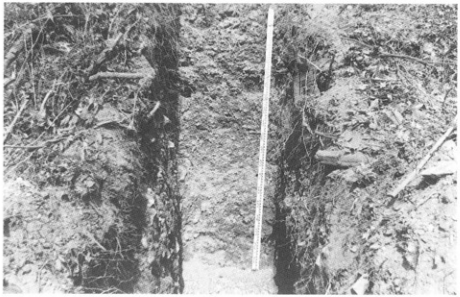


第17トレンチ完堀状況

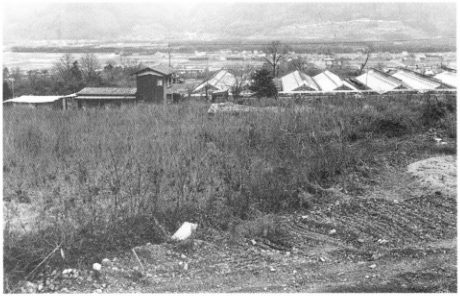
塩塚遺跡２次　図版７

調査前風景

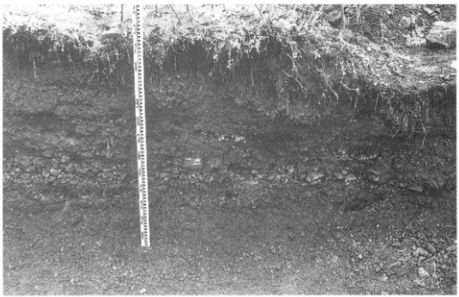
第12トレンチ石組



第９トレンチ完堀状況



調査前風景（北から）

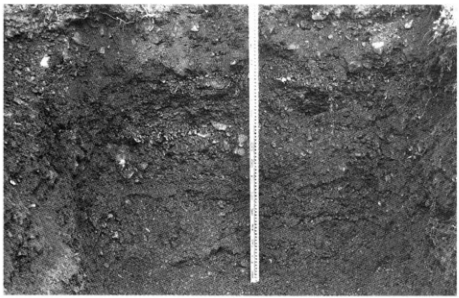


第10トレンチ土層堆積状況

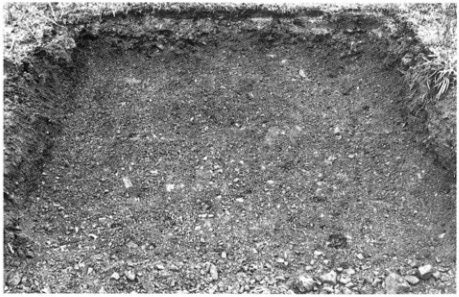
第14トレンチ完堀状況

加茂野宮遺跡（Ⅰ） 図版9

調査前風景

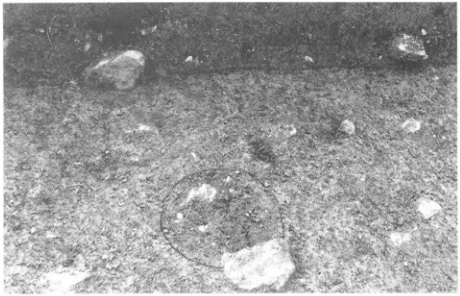


第36トレンチ土層堆積状況

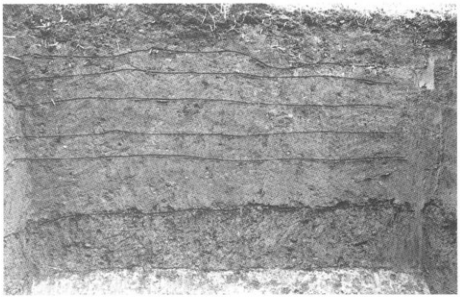


第19トレンチ完堀状況

調査前風景



第12トレンチ遺構検出状況

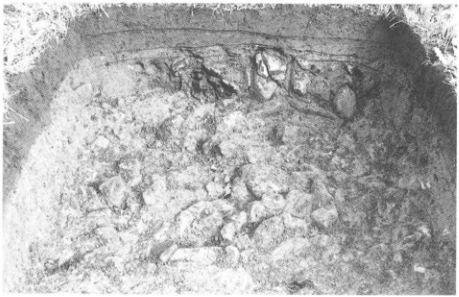


第18トレンチ土層堆積状況

図版11

第36トレンチ遺構検出状況

第40トレンチ遺構検出状況



第49トレンチ石組遺構

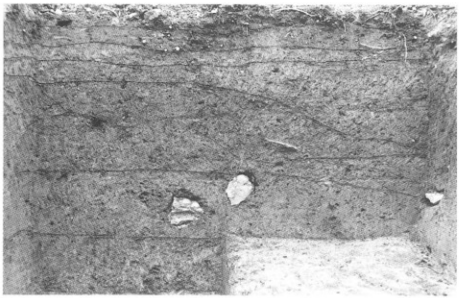
第5トレンチ遺構検出状況

第7トレンチ土層堆積状況

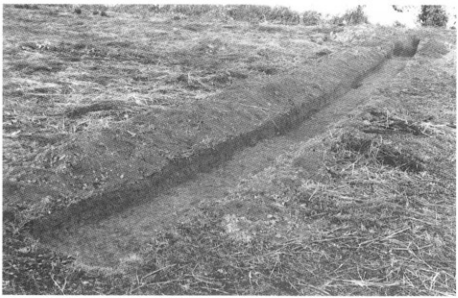
第9トレンチ遺構検出状況

図版13

第10トレンチ遺構検出状況



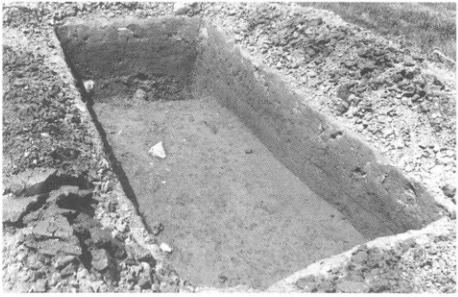
第16トレンチ土層堆積状況



第2トレンチ完堀状況

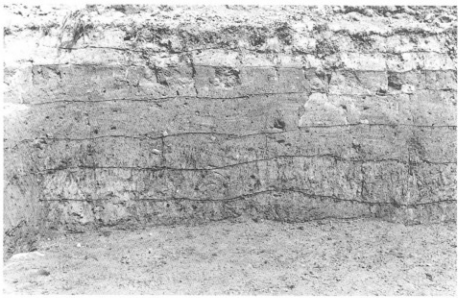
調査前風景（南から）

第22トレンチ遺物出土状況



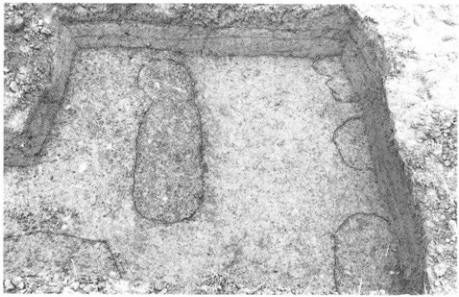
第40トレンチ完堀状況

図版15



第44トレンチ土層堆積状況

第47トレンチ完堀状況



第Y－3トレンチ遺構検出状況（東から）

岩陰A全体風景
（東から）

作業風景

第10トレンチ完堀状況